
福崎町
男女共同参画に関する町民意識調査
報告書

令和2年9月

目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査の実施について.....	1
(3) 調査票の回収状況.....	1
(4) 留意点.....	1
2. 回答者の状況.....	2
(1) 性別、年齢、居住地域.....	2
(2) 職業.....	3
(3) 結婚状況.....	4
(4) 勤務形態.....	4
(5) 家族構成.....	5
(6) 同居の子ども.....	6
3. 男女共同参画の実態と知識について.....	8
(1) 男女共同参画に関する言葉の認知状況.....	8
(2) 現在日本社会で男女がどの程度平等と考えているか.....	12
(3) 男女不平等の原因.....	20
4. 家庭生活について.....	21
(1) 男女の役割についての考え方.....	21
(2) 家庭での役割分担の現実と理想.....	27
(3) 男女共同参画のために必要なこと.....	30
(4) 家庭での介護・育児について.....	31
5. ワーク・ライフ・バランスについて.....	37
(1) ワーク・ライフ・バランスの希望と現実.....	37
(2) ワーク・ライフ・バランスの推進のために必要なこと.....	39
6. 夫婦間などにおける暴力（DV）について.....	41
(1) DVの経験.....	41
(2) DVを防止するために必要なこと.....	44
7. 地域・社会活動について.....	46
(1) 社会活動への参加.....	46
(2) 社会活動への参加における支障.....	48
(3) 地域での男女不平等.....	50

8. 子どもへの男女共同参画教育について.....	51
(1) 子どもの育て方.....	51
(2) 男女平等のために学校教育で必要なこと.....	52
9. 男女共同参画についての考え.....	54
資料（調査票）.....	56

1. 調査概要

(1) 調査目的

この調査は、「福崎町男女共同参画基本計画」の中間見直しにともない、男女共同参画について町民の意識や実態を調査して現状を把握するとともに、次期計画策定のための基礎資料を収集することを目的として実施しました。

(2) 調査の実施について

以下の通り調査を実施しました。

調査名	福崎町 男女共同参画に関する町民意識調査
対象者	福崎町内に居住する 20 歳以上の方のうち、無作為に抽出した 1,500 人
実施時期	令和 2 年 5 月
実施方法	郵送配布・郵送回収

(3) 調査票の回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
1,500 件	731 件	48.7%

(4) 留意点

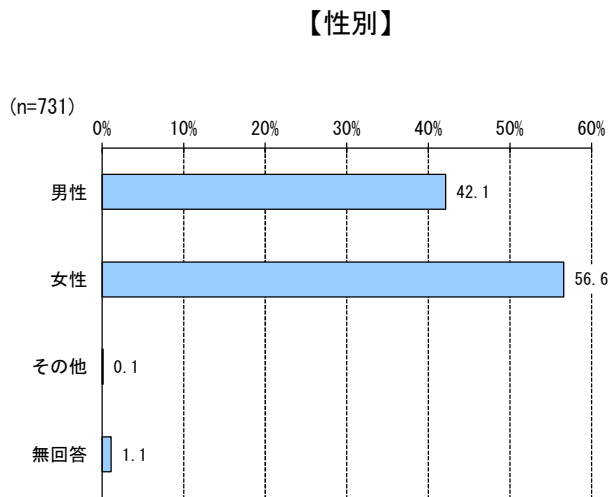
分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数を表しています。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0% とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer = いくつでも) と記載しています。
4. 前回調査とは、平成 27 年度に実施した同調査を指します。

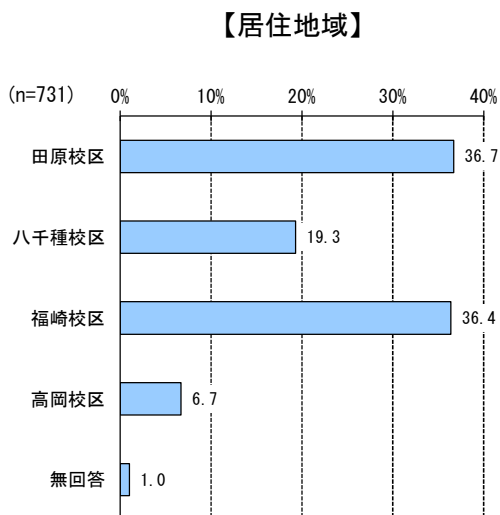
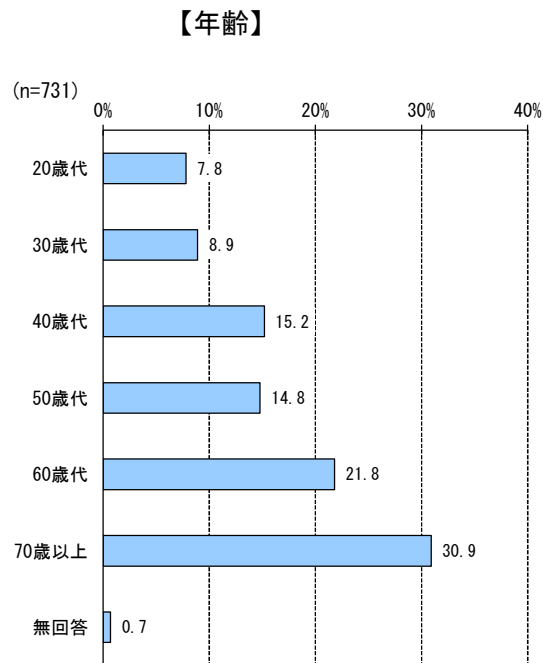
2. 回答者の状況

(1) 性別、年齢、居住地域

【性別】 ○ 性別をみると、男性が42.1%、女性が56.6%で、女性が約1割多くなっています。
【年齢】 ○ 年齢をみると、年齢が高いほど回答者数に占める割合が高い傾向がみられます。
【居住地域】 ○ 居住地域をみると、田原校区、福崎校区が多く、高岡校区は少なくなっています。



※性別の「その他」とは、戸籍上の区分とは別に、回答者の主観によるものです。



(2) 職業

【全体】

- 「会社員・公務員」が30.6%で最も多く、次いで「無職」が24.6%、「主婦・主夫（家事専業）」が18.2%となっています。

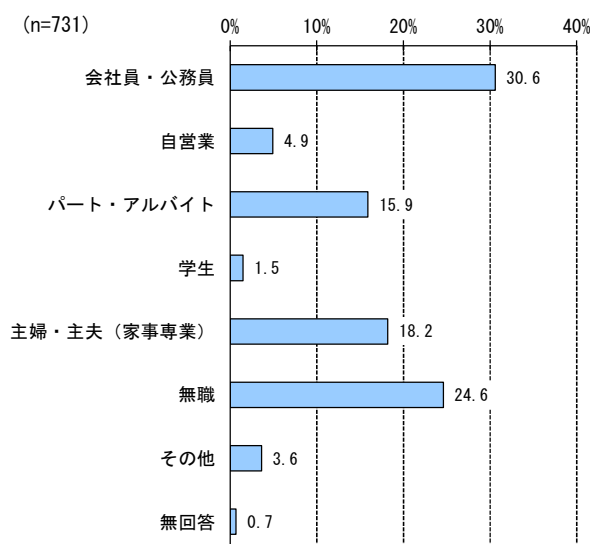
【性別】

- 性別をみると、男性では、「会社員・公務員」が43.8%で最も多いですが、女性では、「主婦・主夫（家事専業）」が30.9%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が21.3%、「会社員・公務員」が21.0%となっています。

【年齢】

- 年齢をみると、20歳代から50歳代では、「会社員・公務員」が4～6割で最も多くなっています。
- 60歳代では、「主婦・主夫（家事専業）」が、70歳以上では、「無職」が61.1%で最も多くなっています。

【職業】



単位：%

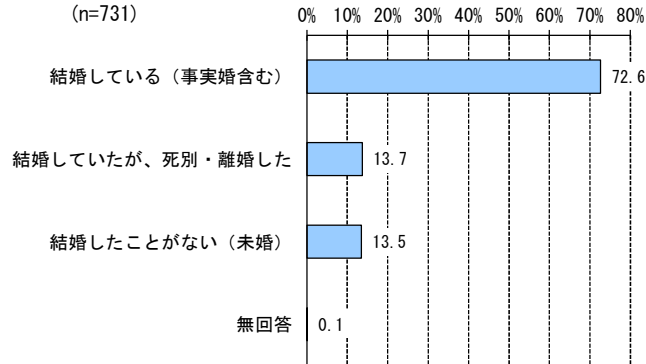
		母数 (n)	問4 あなたの職業は、次のどれにあてはまりますか。							
			会社員・ 公務員	自 営業	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	学 生	主 婦 ・ 主 夫 (家 事 専 業)	無 職	そ の 他	無 回 答
全体		731	30.6	4.9	15.9	1.5	18.2	24.6	3.6	0.7
性別	男性	308	43.8	6.5	8.8	1.9	1.3	33.1	4.5	-
	女性	414	21.0	3.9	21.3	1.2	30.9	18.8	2.9	-
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-
年齢	20歳代	57	63.2	-	7.0	19.3	7.0	1.8	1.8	-
	30歳代	65	43.1	6.2	26.2	-	18.5	-	6.2	-
	40歳代	111	56.8	4.5	26.1	-	7.2	2.7	1.8	0.9
	50歳代	108	53.7	3.7	23.1	-	14.8	3.7	0.9	-
	60歳代	159	20.8	5.7	18.9	-	27.0	21.4	6.3	-
	70歳以上	226	2.2	6.2	4.9	-	22.1	61.1	3.5	-
家族 構成	ひとり暮らし (単身世帯)	65	18.5	7.7	10.8	1.5	15.4	43.1	3.1	-
	夫婦だけ、兄弟・姉妹のみ (一世帯世帯)	204	15.7	6.4	17.2	0.5	27.0	29.4	3.9	-
	夫婦と親、夫婦と子 (二世帯世帯)	247	42.5	4.0	18.2	0.8	19.4	12.1	2.0	0.8
	ひとり親と子 (三世帯世帯)	47	46.8	2.1	10.6	2.1	10.6	25.5	2.1	-
	親と子と孫 (三世帯世帯)	98	34.7	3.1	15.3	3.1	10.2	27.6	6.1	-
	その他の世帯	53	30.2	5.7	13.2	3.8	7.5	34.0	5.7	-

(3) 結婚状況

【全体】

- 「結婚している（事実婚含む）」が72.6%で最も多く、次いで「結婚していたが、死別・離婚した」が13.7%、「結婚したことがない（未婚）」が13.5%となっています。

【結婚状況】



(4) 勤務形態

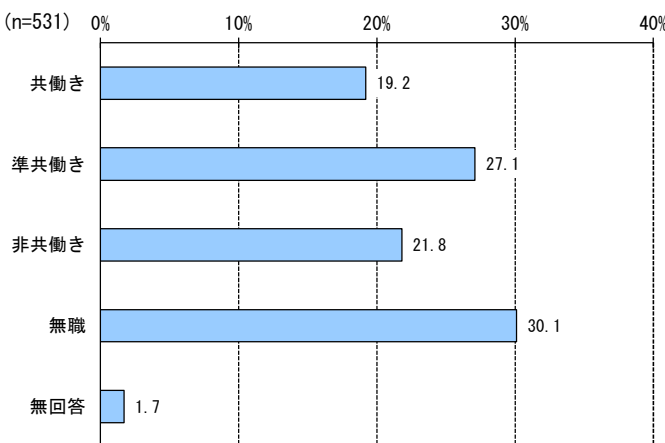
【全体】

- 結婚している（事実婚含む）回答者の勤務形態について、「無職」が30.1%で最も多く、次いで「準共働き」が27.1%、「非共働き」が21.8%となっています。

【年齢】

- 年齢をみると、20歳代では「共働き」「非共働き」が33.3%で最も多く、30歳代から50歳代では「準共働き」が、60歳代以上では「無職」が最も多くなっています。

【勤務形態】



単位：%

	母数 (n)	問5-2 あなたと配偶者の勤務形態は次のどれに あたりますか。					
		共働き	準共働き	非共働き	無職	無回答	
全体	531	19.2	27.1	21.8	30.1	1.7	
年齢	20歳代	12	33.3	25.0	33.3	-	8.3
	30歳代	43	32.6	39.5	25.6	-	2.3
	40歳代	90	36.7	48.9	11.1	2.2	1.1
	50歳代	91	33.0	39.6	26.4	1.1	-
	60歳代	127	11.0	26.8	29.1	32.3	0.8
	70歳以上	165	4.2	6.1	17.6	70.3	1.8

※共働き：ともにフルタイム勤務

準共働き：一方がフルタイム勤務、一方がパートタイム勤務
または、ともにパートタイム勤務

非共働き：一方がフルタイム勤務、一方が無職

または、一方がパートタイム勤務、一方が無職

無職：ともに無職

(5) 家族構成

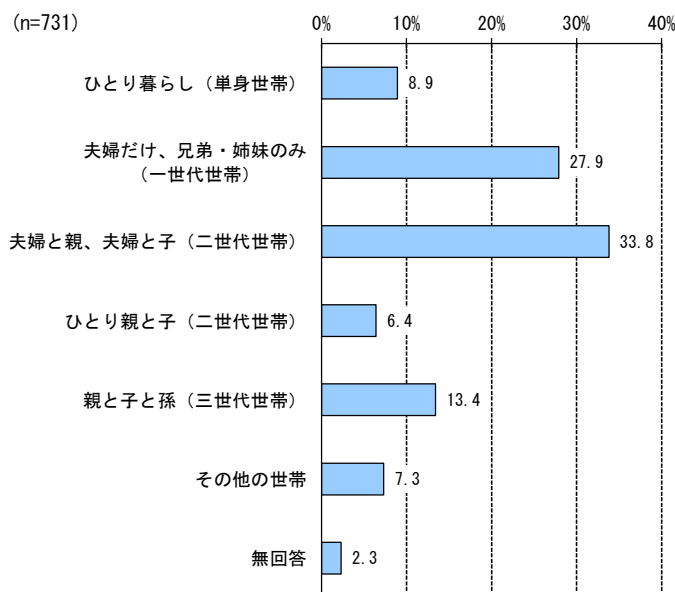
【全体】

○ 「夫婦と親、夫婦と子（二世世代世帯）」が33.8%で最も多く、次いで「夫婦だけ、兄弟・姉妹のみ（一世世代世帯）」が27.9%、「親と子と孫（三世世代世帯）」が13.4%となっています。

【年齢】

○ 年齢をみると、20歳代から50歳代では「夫婦と親、夫婦と子（二世世代世帯）」が最も多く、60歳代以上では「一世世代世帯」が最も多くなっています。

【家族構成】



単位：%

		母数 (n)	問6 あなたの家族構成は次のうちどれですか。						
			ひとり暮らし (単身世帯)	夫婦だけ、兄弟・姉妹のみ (一世世代世帯)	夫婦と親、夫婦と子 (二世世代世帯)	ひとり親と子 (二世世代世帯)	親と子と孫 (三世世代世帯)	その他の世帯	無回答
全体		731	8.9	27.9	33.8	6.4	13.4	7.3	2.3
年齢	20歳代	57	8.8	17.5	36.8	7.0	17.5	10.5	1.8
	30歳代	65	3.1	23.1	43.1	9.2	10.8	10.8	-
	40歳代	111	3.6	14.4	53.2	9.0	11.7	7.2	0.9
	50歳代	108	2.8	16.7	49.1	8.3	16.7	4.6	1.9
	60歳代	159	10.7	36.5	30.8	4.4	10.7	5.7	1.3
	70歳以上	226	15.0	38.5	15.5	4.9	14.6	8.0	3.5

(6) 同居の子ども

①同居の子どもの有無

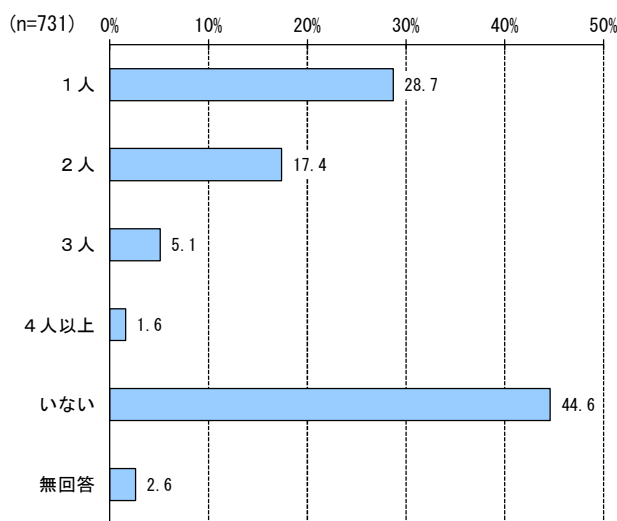
【全体】

○ 「いない」が44.6%で最も多く、次いで「1人」が28.7%、「2人」が17.4%となっています。

【性・年齢】

○ 性・年齢をみると、男性は女性に比べ、年齢が若いほど同居の子どもの人数が少ない傾向がみられます。男性では40歳代、50歳代、女性では30歳代、40歳代で“同居の子どもが一人以上いる”人が7割を超えています。

【同居の子どもの有無】



単位：%

		母数 (n)	問7-1 あなたには同居のお子さんがおられますか。					
			1人	2人	3人	4人以上	いない	無回答
全体		731	28.7	17.4	5.1	1.6	44.6	2.6
性・年齢	男性							
	20歳代	34	11.8	5.9	-	-	73.5	8.8
	30歳代	20	20.0	15.0	5.0	-	60.0	-
	40歳代	37	27.0	43.2	5.4	-	21.6	2.7
	50歳代	44	38.6	27.3	6.8	-	27.3	-
	60歳代	78	32.1	12.8	6.4	2.6	46.2	-
	70歳以上	94	35.1	5.3	2.1	5.3	50.0	2.1
	女性							
	20歳代	22	13.6	13.6	-	-	68.2	4.5
	30歳代	45	17.8	37.8	15.6	4.4	22.2	2.2
	40歳代	71	22.5	43.7	12.7	-	19.7	1.4
	50歳代	64	32.8	21.9	3.1	-	42.2	-
	60歳代	80	27.5	6.3	5.0	-	60.0	1.3
	70歳以上	132	33.3	6.1	0.8	2.3	53.8	3.8
その他								
20歳代	1	-	-	-	-	100.0	-	
30歳代	-	-	-	-	-	-	-	
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	

②同居の子どもの年齢

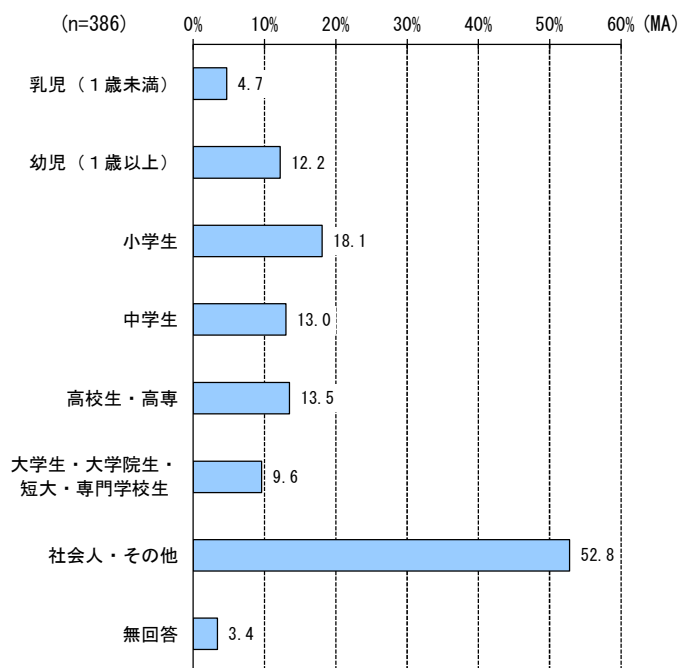
【全体】

- 同居の子どもの年齢について、「社会人・その他」が52.8%で最も多く、次いで「小学生」が18.1%、「高校生・高専」が13.5%となっています。

【勤務形態】

- 勤務形態をみると、準共働きでは「小学生」が、非共働きでは、「幼児（1歳以上）」がそれぞれほかの勤務形態に比べ多くなっています。

【同居の子どもの年齢】



単位：%

		母数 (n)	問7-2 お子さんは次のどれにあてはまりますか。(MA)							無回答
			乳児 (1歳未満)	幼児 (1歳以上)	小学生	中学生	高校生・高専	短大・ 専大・ 大学院生	社会人・ その他	
全体		386	4.7	12.2	18.1	13.0	13.5	9.6	52.8	3.4
性・ 年齢	男性									
	20歳代	6	33.3	33.3	-	-	-	16.7	33.3	-
	30歳代	8	50.0	50.0	37.5	-	-	-	-	-
	40歳代	28	3.6	32.1	50.0	17.9	25.0	10.7	3.6	-
	50歳代	32	-	-	6.3	12.5	28.1	28.1	46.9	-
	60歳代	42	-	-	4.8	7.1	4.8	-	92.9	-
	70歳以上	45	-	2.2	6.7	6.7	6.7	2.2	84.4	8.9
	女性									
	20歳代	6	66.7	83.3	-	-	-	-	-	-
	30歳代	34	20.6	55.9	58.8	14.7	8.8	-	-	2.9
	40歳代	56	-	7.1	37.5	35.7	37.5	21.4	10.7	-
	50歳代	37	-	-	5.4	13.5	13.5	24.3	67.6	-
	60歳代	31	-	3.2	3.2	-	-	-	93.5	3.2
	70歳以上	56	-	3.6	3.6	7.1	1.8	1.8	83.9	10.7
その他										
20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
勤務 形態	共働き	75	8.0	17.3	18.7	17.3	22.7	22.7	32.0	1.3
	準共働き	115	1.7	11.3	33.0	19.1	18.3	13.0	38.3	1.7
	非共働き	65	13.8	23.1	13.8	12.3	9.2	3.1	49.2	1.5
	無職	69	-	1.4	5.8	4.3	2.9	1.4	89.9	4.3

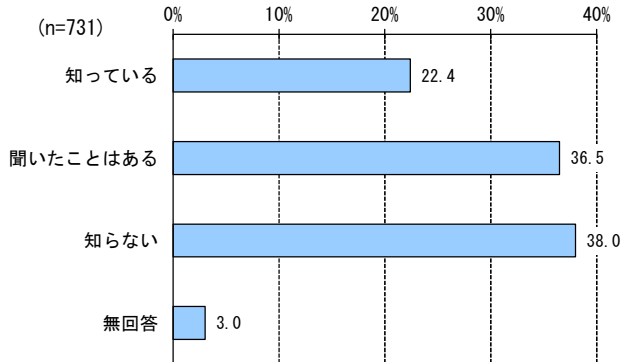
3. 男女共同参画の実態と知識について

(1) 男女共同参画に関する言葉の認知状況

問8 あなたは次の言葉の意味や内容をご存じですか。

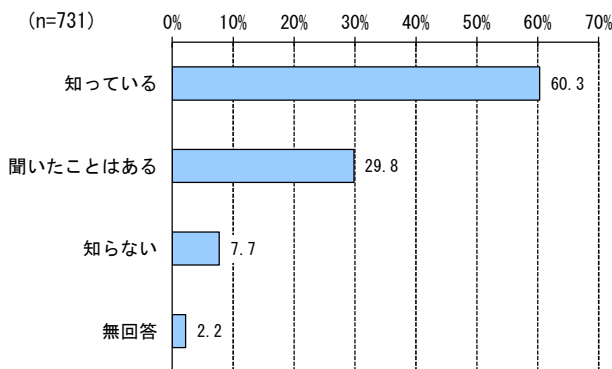
- 「知っている」が最も多かったのは【④セクハラ（セクシュアル・ハラスメント）】で87.3%、次いで【⑤DV（配偶者からの暴力）】が85.9%となっています。
- 「知らない」が最も多いのは【⑩積極的改善措置（ポジティブ・アクション）】で60.2%、次いで【①男女共同参画社会基本法】が38.0%となっています。

【①男女共同参画社会基本法】



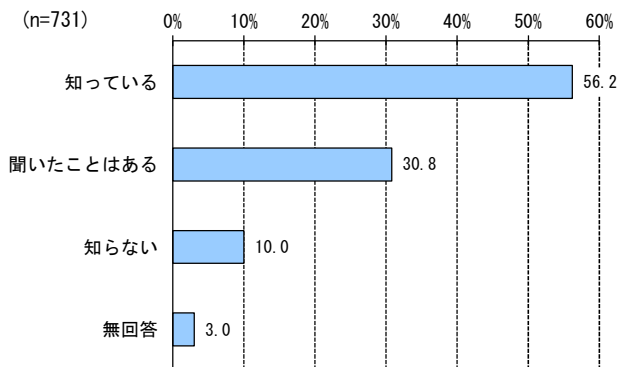
		母数 (n)	問8 ①男女共同参画社会基本法			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	22.4	36.5	38.0	3.0
性別	男性	308	28.9	37.3	32.1	1.6
	女性	414	17.4	36.5	42.8	3.4
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	36.8	45.6	17.5	-
	30歳代	65	15.4	36.9	47.7	-
	40歳代	111	16.2	29.7	53.2	0.9
	50歳代	108	23.1	39.8	37.0	-
	60歳代	159	20.8	37.1	40.3	1.9
	70歳以上	226	25.2	35.8	32.3	6.6

【②男女雇用機会均等法】



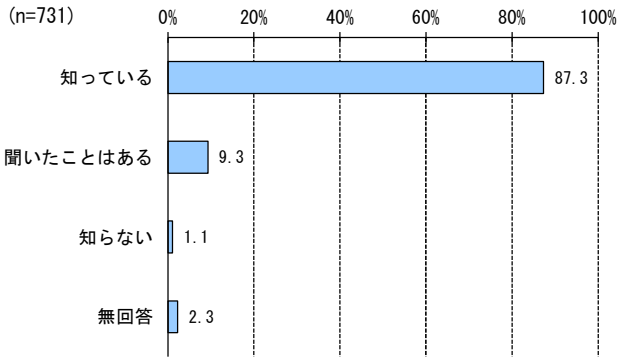
		母数 (n)	問8 ②男女雇用機会均等法			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	60.3	29.8	7.7	2.2
性別	男性	308	66.2	26.6	6.2	1.0
	女性	414	56.3	32.4	8.9	2.4
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	54.4	38.6	7.0	-
	30歳代	65	52.3	36.9	10.8	-
	40歳代	111	74.8	20.7	3.6	0.9
	50歳代	108	73.1	24.1	2.8	-
	60歳代	159	66.0	25.2	7.5	1.3
	70歳以上	226	47.8	36.3	11.5	4.4

【③育児・介護休業法】



		母数 (n)	問8 ③育児・介護休業法			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	56.2	30.8	10.0	3.0
性別	男性	308	52.9	34.1	10.1	2.9
	女性	414	58.9	28.5	10.1	2.4
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	50.9	33.3	14.0	1.8
	30歳代	65	56.9	30.8	9.2	3.1
	40歳代	111	65.8	26.1	7.2	0.9
	50歳代	108	69.4	25.0	5.6	-
	60歳代	159	57.9	30.2	10.1	1.9
	70歳以上	226	46.0	35.8	12.8	5.3

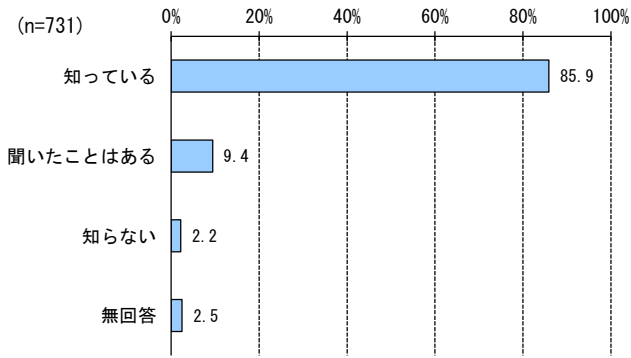
【④セクハラ（セクシュアル・ハラスメント）】



単位：%

		母数 (n)	問8 ④セクハラ (セクシュアル・ハラスメント)			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	87.3	9.3	1.1	2.3
性別	男性	308	89.6	8.4	0.6	1.3
	女性	414	86.0	10.1	1.4	2.4
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	98.2	1.8	-	-
	30歳代	65	93.8	3.1	1.5	1.5
	40歳代	111	93.7	4.5	0.9	0.9
	50歳代	108	94.4	4.6	0.9	-
	60歳代	159	89.9	6.9	0.6	2.5
	70歳以上	226	75.2	19.5	1.8	3.5

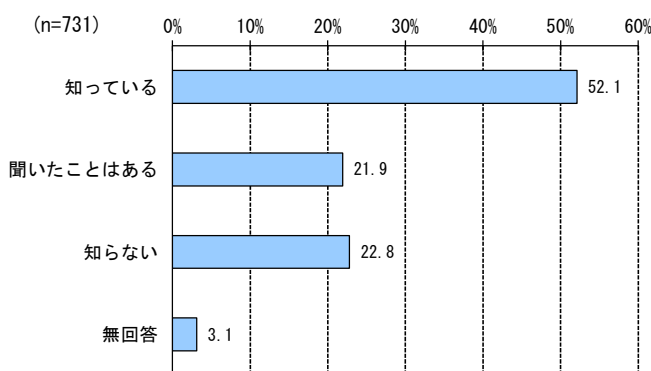
【⑤DV（配偶者からの暴力）】



単位：%

		母数 (n)	問8 ⑤DV (配偶者からの暴力)			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	85.9	9.4	2.2	2.5
性別	男性	308	86.0	10.4	2.3	1.3
	女性	414	86.2	8.9	2.2	2.7
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	98.2	1.8	-	-
	30歳代	65	95.4	1.5	1.5	1.5
	40歳代	111	93.7	4.5	0.9	0.9
	50歳代	108	95.4	2.8	1.9	-
	60歳代	159	89.9	6.9	1.3	1.9
	70歳以上	226	69.9	21.2	4.4	4.4

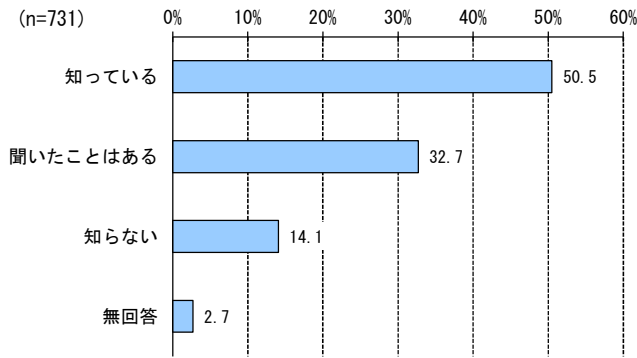
【⑥デートDV（交際相手からの暴力）】



単位：%

		母数 (n)	問8 ⑥デートDV (交際相手からの暴力)			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	52.1	21.9	22.8	3.1
性別	男性	308	48.4	24.0	26.0	1.6
	女性	414	55.1	20.5	20.8	3.6
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	57.9	21.1	21.1	-
	30歳代	65	55.4	20.0	20.0	4.6
	40歳代	111	67.6	13.5	18.0	0.9
	50歳代	108	59.3	19.4	21.3	-
	60歳代	159	47.8	25.2	25.2	1.9
	70歳以上	226	42.9	26.1	25.2	5.8

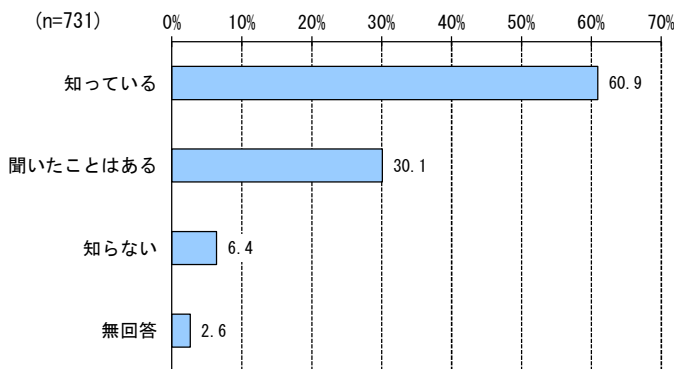
【⑦配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)】



単位: %

		母数 (n)	問8 ⑦配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	50.5	32.7	14.1	2.7
性別	男性	308	52.9	32.1	13.3	1.6
	女性	414	48.8	33.3	15.0	2.9
	その他	1	-	100.0	-	-
年齢	20歳代	57	35.1	43.9	21.1	-
	30歳代	65	43.1	40.0	15.4	1.5
	40歳代	111	64.9	27.9	6.3	0.9
	50歳代	108	63.9	29.6	5.6	0.9
	60歳代	159	53.5	34.6	9.4	2.5
	70歳以上	226	41.6	30.5	23.5	4.4

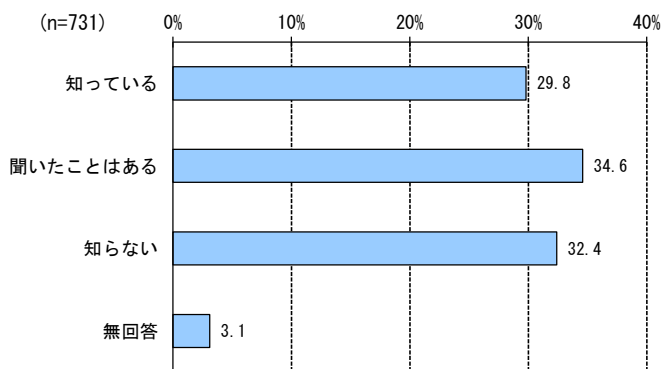
【⑧ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー規制法)】



単位: %

		母数 (n)	問8 ⑧ストーカー行為等の規制等に関する法律 (ストーカー規制法)			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	60.9	30.1	6.4	2.6
性別	男性	308	64.3	28.2	5.5	1.9
	女性	414	58.5	31.9	7.2	2.4
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	45.6	49.1	5.3	-
	30歳代	65	60.0	33.8	4.6	1.5
	40歳代	111	79.3	18.0	1.8	0.9
	50歳代	108	75.9	22.2	1.9	-
	60歳代	159	64.8	28.3	5.0	1.9
	70歳以上	226	47.3	35.0	12.8	4.9

【⑨ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)】

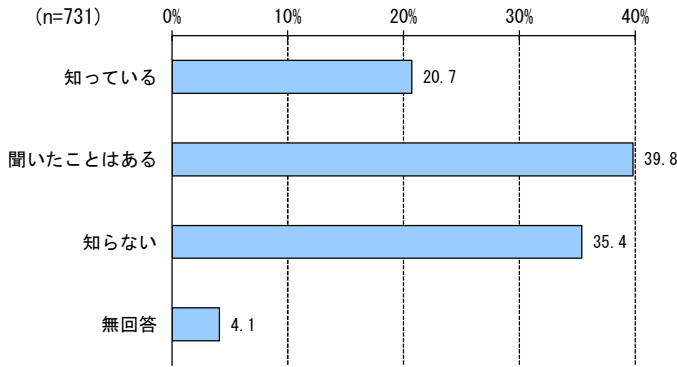


単位: %

		母数 (n)	問8 ⑨ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	29.8	34.6	32.4	3.1
性別	男性	308	34.7	35.4	27.6	2.3
	女性	414	26.1	34.3	36.5	3.1
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	47.4	33.3	19.3	-
	30歳代	65	32.3	38.5	27.7	1.5
	40歳代	111	34.2	31.5	33.3	0.9
	50歳代	108	46.3	29.6	24.1	-
	60歳代	159	25.8	32.7	39.0	2.5
	70歳以上	226	18.1	38.9	36.7	6.2

【⑩女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）】

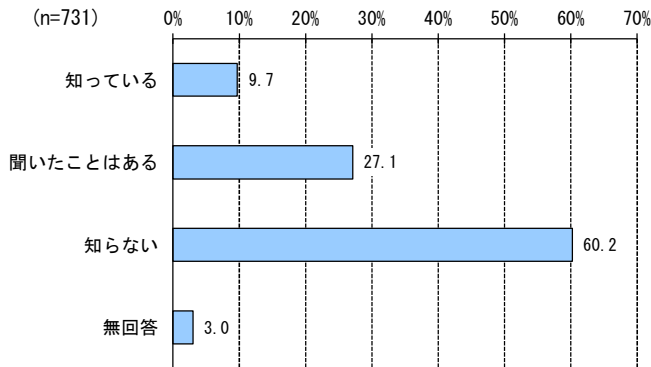
単位：%



		母数 (n)	問8 ⑩女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	20.7	39.8	35.4	4.1
性別	男性	308	25.3	41.9	29.5	3.2
	女性	414	16.9	38.4	40.6	4.1
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	22.8	45.6	31.6	-
	30歳代	65	15.4	53.8	29.2	1.5
	40歳代	111	27.9	38.7	32.4	0.9
	50歳代	108	24.1	48.1	27.8	-
	60歳代	159	19.5	38.4	39.0	3.1
	70歳以上	226	17.7	32.3	41.2	8.8

【⑪積極的改善措置（ポジティブ・アクション）】

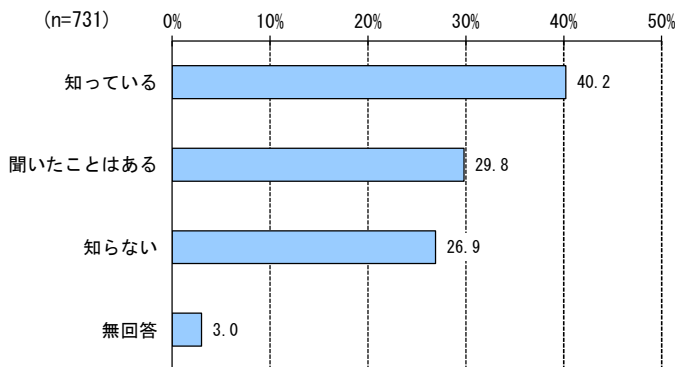
単位：%



		母数 (n)	問8 ⑪積極的改善措置 (ポジティブ・アクション)			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	9.7	27.1	60.2	3.0
性別	男性	308	12.3	29.9	55.2	2.6
	女性	414	7.5	25.4	64.5	2.7
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	12.3	29.8	57.9	-
	30歳代	65	6.2	27.7	64.6	1.5
	40歳代	111	8.1	21.6	69.4	0.9
	50歳代	108	13.0	37.0	50.0	-
	60歳代	159	8.2	24.5	65.4	1.9
	70歳以上	226	10.6	26.5	56.6	6.2

【⑫性的マイノリティ（LGBT）】

単位：%



		母数 (n)	問8 ⑫性的マイノリティ (LGBT)			
			知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		731	40.2	29.8	26.9	3.0
性別	男性	308	40.3	32.5	25.0	2.3
	女性	414	40.3	28.0	28.7	2.9
	その他	1	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	49.1	35.1	15.8	-
	30歳代	65	53.8	32.3	12.3	1.5
	40歳代	111	56.8	23.4	18.9	0.9
	50歳代	108	58.3	28.7	13.0	-
	60歳代	159	37.7	30.2	30.2	1.9
	70歳以上	226	19.9	31.0	42.9	6.2

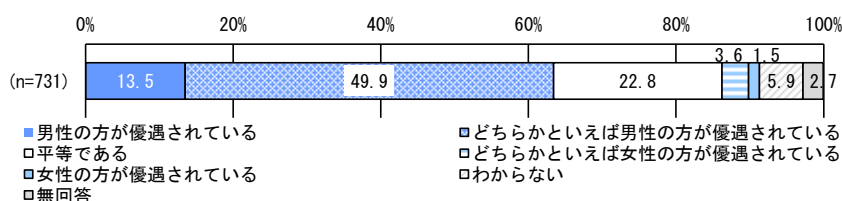
(2) 現在日本社会で男女がどの程度平等と考えているか

問9 日本の社会での現在の男女の地位は、どの程度平等になっていると思いますか。

①家庭生活で

<p>【全体】</p> <p>○ 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が49.9%で最も多く、次いで「平等である」が22.8%、「男性の方が優遇されている」が13.5%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 性・年齢をみると、男性 20歳代～30歳代では「平等である」が最も多くなっていますが、ほかの性・年齢では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多くなっています。</p> <p>【結婚状況】</p> <p>○ 結婚状況をみると、「結婚している（事実婚含む）」人、「結婚していたが、死別・離婚した」人では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」「男性の方が優遇されている」を合わせた“男性のほうが優遇されている”が6割を超えているのに対し、「結婚したことがない（未婚）」人では5割程度になっています。</p>
--

【①家庭生活で】



単位：%

	母数 (n)	問9 ①家庭生活で							
		男性の 方が 優遇 され てい る	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	平 等 で あ る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	わ か ら な い	無 回 答	
全体	731	13.5	49.9	22.8	3.6	1.5	5.9	2.7	
性・年齢	男性 20歳代	34	5.9	26.5	35.3	8.8	2.9	20.6	-
	30歳代	20	5.0	40.0	45.0	-	10.0	-	-
	40歳代	37	5.4	48.6	32.4	-	8.1	5.4	-
	50歳代	44	15.9	45.5	29.5	4.5	-	4.5	-
	60歳代	78	11.5	48.7	28.2	5.1	1.3	3.8	1.3
	70歳以上	94	7.4	50.0	26.6	7.4	1.1	5.3	2.1
	女性 20歳代	22	13.6	59.1	9.1	4.5	-	13.6	-
	30歳代	45	15.6	46.7	24.4	2.2	2.2	6.7	2.2
	40歳代	71	18.3	60.6	9.9	1.4	1.4	4.2	4.2
	50歳代	64	20.3	60.9	15.6	-	-	1.6	1.6
60歳代	80	16.3	57.5	16.3	1.3	-	6.3	2.5	
70歳以上	132	15.9	46.2	21.2	3.8	0.8	6.1	6.1	
その他 20歳代	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	12.5	49.1	28.6	3.1	2.2	4.5	-
	自営業	36	13.9	44.4	30.6	8.3	2.8	-	-
	パート・アルバイト	116	15.5	53.4	21.6	-	1.7	5.2	2.6
	学生	11	-	72.7	9.1	9.1	-	9.1	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	15.0	54.9	16.5	1.5	0.8	7.5	3.8
	無職	180	13.9	44.4	21.1	7.2	1.1	7.8	4.4
	その他	26	7.7	61.5	19.2	-	-	3.8	7.7
結 婚 状 況	結婚している（事実婚含む）	531	14.5	52.0	23.4	3.6	0.8	4.0	1.9
	結婚していたが、死別・離婚した	100	16.0	46.0	20.0	3.0	1.0	9.0	5.0
	結婚したことがない（未婚）	99	6.1	43.4	23.2	4.0	6.1	13.1	4.0

②就業の機会

【全体】

- 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が48.8%で最も多く、次いで「平等である」が20.1%、「男性の方が優遇されている」が17.9%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢についてみると、男女ともに20歳代では他の年代に比べ「平等である」が多くなっています。
- 女性は男性に比べ、“男性の方が優遇されている”が多くなっています。

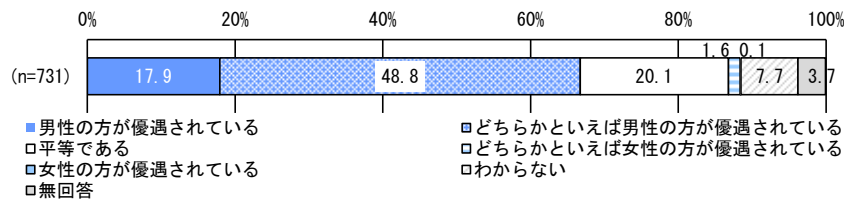
【職業】

- 職業をみると、パート・アルバイト、主婦・主夫（家事専業）では他の職業に比べ、“男性の方が優遇されている”が多くなっています。

【結婚状況】

- 結婚状況をみると、「結婚したことがない（未婚）」人では他の結婚状況の人に比べ、「平等である」が多くなっています。

【②就業の機会】



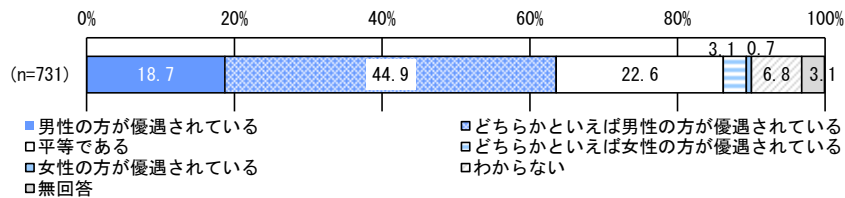
単位：%

		母数 (n)	問9 ②就業の機会						
			男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		731	17.9	48.8	20.1	1.6	0.1	7.7	3.7
性・年齢	男性								
	20歳代	34	5.9	38.2	38.2	5.9	-	11.8	-
	30歳代	20	15.0	55.0	25.0	-	-	5.0	-
	40歳代	37	21.6	54.1	24.3	-	-	-	-
	50歳代	44	13.6	52.3	20.5	6.8	2.3	2.3	2.3
	60歳代	78	15.4	47.4	28.2	2.6	-	3.8	2.6
	70歳以上	94	7.4	43.6	38.3	1.1	-	8.5	1.1
	女性								
	20歳代	22	9.1	54.5	22.7	-	-	13.6	-
	30歳代	45	24.4	51.1	17.8	2.2	-	2.2	2.2
40歳代	71	35.2	47.9	7.0	-	-	5.6	4.2	
50歳代	64	21.9	60.9	9.4	-	-	7.8	-	
60歳代	80	25.0	46.3	15.0	2.5	-	10.0	1.3	
70歳以上	132	15.9	47.7	11.4	0.8	-	12.1	12.1	
その他	20歳代	1	-	100.0	-	-	-	-	-
職業	会社員・公務員	224	17.4	55.4	19.6	2.2	0.4	4.0	0.9
	自営業	36	16.7	58.3	22.2	-	-	2.8	-
	パート・アルバイト	116	19.8	50.9	18.1	2.6	-	6.9	1.7
	学生	11	9.1	36.4	45.5	-	-	9.1	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	24.1	47.4	12.0	-	-	10.5	6.0
	無職	180	15.0	42.8	23.9	1.1	-	11.1	6.1
	その他	26	11.5	34.6	34.6	7.7	-	3.8	7.7
	結婚状況								
結婚している（事実婚含む）	531	17.9	50.7	19.6	1.1	0.2	7.5	3.0	
結婚していたが、死別・離婚した	100	20.0	46.0	17.0	3.0	-	7.0	7.0	
結婚したことがない（未婚）	99	16.2	42.4	26.3	3.0	-	9.1	3.0	

③職場で

- 【全体】**
- 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が44.9%で最も多く、次いで「平等である」が22.6%、「男性の方が優遇されている」が18.7%となっています。
- 【性・年齢】**
- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、「男性の方が優遇されている」が多くなっています。
- 【職業】**
- 職業をみると、学生、主婦・主夫（家事専業）では他の職業に比べ、「平等である」が少なくなっています。
- 【結婚状況】**
- 結婚状況をみると、「結婚したことがない（未婚）」人では、他の結婚状況の人に比べ、「平等である」がやや多くなっています。

【③職場で】



単位：%

		母数 (n)	問9 ③職場で						
			男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		731	18.7	44.9	22.6	3.1	0.7	6.8	3.1
性・年齢	男性								
	20歳代	34	2.9	55.9	29.4	2.9	-	8.8	-
	30歳代	20	10.0	50.0	40.0	-	-	-	-
	40歳代	37	21.6	48.6	21.6	5.4	2.7	-	-
	50歳代	44	18.2	45.5	22.7	6.8	4.5	2.3	-
	60歳代	78	14.1	39.7	33.3	6.4	1.3	2.6	2.6
	70歳以上	94	7.4	48.9	28.7	2.1	-	10.6	2.1
	女性								
	20歳代	22	9.1	50.0	22.7	9.1	-	9.1	-
	30歳代	45	26.7	35.6	22.2	4.4	-	8.9	2.2
40歳代	71	35.2	38.0	18.3	1.4	-	4.2	2.8	
50歳代	64	23.4	40.6	29.7	-	1.6	4.7	-	
60歳代	80	26.3	47.5	10.0	5.0	-	10.0	1.3	
70歳以上	132	18.9	47.7	13.6	0.8	-	9.1	9.8	
その他	20歳代	1	-	100.0	-	-	-	-	-
職業	会社員・公務員	224	14.7	47.3	29.0	4.9	1.8	1.8	0.4
	自営業	36	22.2	52.8	22.2	-	-	2.8	-
	パート・アルバイト	116	20.7	40.5	26.7	4.3	-	6.9	0.9
	学生	11	18.2	54.5	9.1	-	-	18.2	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	26.3	45.1	9.8	1.5	-	12.0	5.3
	無職	180	16.7	47.2	18.9	2.2	0.6	8.9	5.6
	その他	26	19.2	19.2	46.2	3.8	-	3.8	7.7
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	19.6	45.2	22.0	3.0	0.8	6.8	2.6
	結婚していたが、死別・離婚した	100	19.0	44.0	20.0	4.0	1.0	8.0	4.0
	結婚したことがない（未婚）	99	14.1	44.4	28.3	3.0	-	6.1	4.0

④学校教育の場で

【全体】

- 「平等である」が60.9%で最も多く、次いで「わからない」が15.5%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が15.0%となっています。

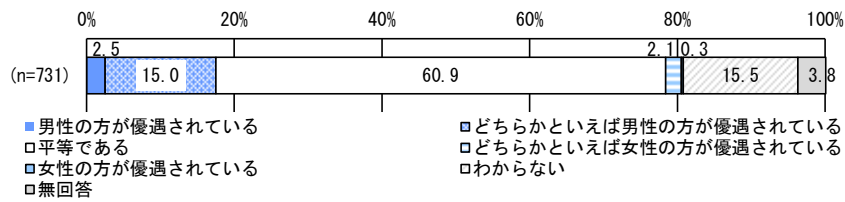
【性・年齢】

- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が約10%多くなっています。

【職業】

- 職業をみると、主婦・主夫（家事専業）では他の職業に比べ、“男性の方が優遇されている”が多くなっています。

【④学校教育の場で】



単位：%

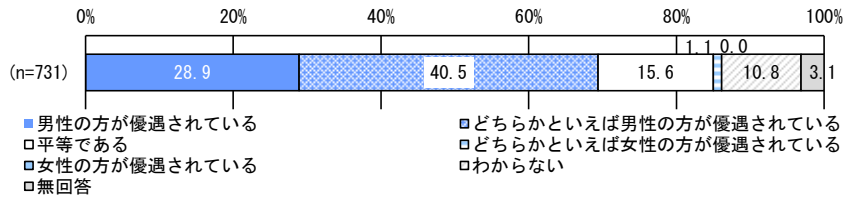
		母数 (n)	問9 ④学校教育の場で						
			男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		731	2.5	15.0	60.9	2.1	0.3	15.5	3.8
性・年齢	男性 20歳代	34	-	5.9	64.7	8.8	-	20.6	-
	30歳代	20	-	10.0	65.0	5.0	-	20.0	-
	40歳代	37	-	13.5	75.7	5.4	-	5.4	-
	50歳代	44	4.5	11.4	77.3	-	-	6.8	-
	60歳代	78	2.6	11.5	69.2	1.3	1.3	11.5	2.6
	70歳以上	94	-	7.4	67.0	-	-	23.4	2.1
	女性 20歳代	22	-	13.6	77.3	-	-	9.1	-
	30歳代	45	-	15.6	64.4	2.2	-	15.6	2.2
	40歳代	71	2.8	21.1	62.0	2.8	-	7.0	4.2
	50歳代	64	4.7	23.4	57.8	1.6	-	10.9	1.6
60歳代	80	-	16.3	55.0	2.5	-	25.0	1.3	
70歳以上	132	6.8	19.7	41.7	1.5	0.8	17.4	12.1	
その他 20歳代	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	0.9	12.9	71.4	3.6	-	10.3	0.9
	自営業	36	2.8	11.1	72.2	-	-	11.1	2.8
	パート・アルバイト	116	4.3	16.4	60.3	2.6	-	14.7	1.7
	学生	11	-	9.1	72.7	-	-	18.2	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	3.8	22.6	49.6	1.5	-	16.5	6.0
	無職	180	2.8	14.4	53.3	0.6	1.1	21.7	6.1
	その他	26	-	3.8	65.4	3.8	-	19.2	7.7
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	2.4	15.4	62.7	1.9	0.2	14.1	3.2
	結婚していたが、死別・離婚した	100	4.0	10.0	58.0	3.0	-	20.0	5.0
	結婚したことがない（未婚）	99	1.0	18.2	54.5	2.0	1.0	18.2	5.1

⑤政治・政策決定の場で

【全体】
 ○ 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が40.5%で最も多く、次いで「男性の方が優遇されている」が28.9%、「平等である」が15.6%となっています。

【性・年齢】
 ○ 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、「男性の方が優遇されている」が多く、30歳代から50歳代では4割以上と特に多くなっています。

【⑤政治・政策決定の場で】



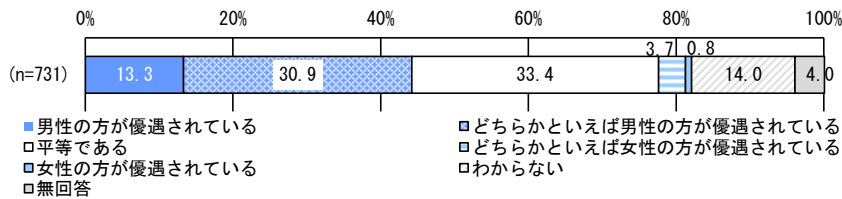
単位：%

		問9 ⑤政治・政策決定の場で							
		母数 (n)	男性 の方が 優遇さ されて いる	男 ど ち ら か と い え ば 優 遇 さ れ て い る	平 等 で あ る	女 ど ち ら か と い え ば 優 遇 さ れ て い る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	わ か ら な い	無 回 答
全体		731	28.9	40.5	15.6	1.1	-	10.8	3.1
性・年齢	男性 20歳代	34	17.6	58.8	11.8	2.9	-	8.8	-
	30歳代	20	10.0	50.0	20.0	-	-	20.0	-
	40歳代	37	21.6	43.2	29.7	2.7	-	2.7	-
	50歳代	44	20.5	45.5	27.3	2.3	-	4.5	-
	60歳代	78	23.1	50.0	15.4	2.6	-	6.4	2.6
	70歳以上	94	18.1	36.2	33.0	-	-	10.6	2.1
	女性 20歳代	22	22.7	54.5	9.1	-	-	13.6	-
	30歳代	45	44.4	26.7	13.3	-	-	13.3	2.2
	40歳代	71	43.7	36.6	4.2	1.4	-	9.9	4.2
	50歳代	64	45.3	35.9	7.8	1.6	-	9.4	-
60歳代	80	30.0	42.5	8.8	1.3	-	16.3	1.3	
70歳以上	132	30.3	35.6	12.9	-	-	12.1	9.1	
その他 20歳代	1	-	-	-	-	-	100.0	-	
職業	会社員・公務員	224	25.9	46.0	17.0	1.3	-	8.9	0.9
	自営業	36	25.0	38.9	22.2	2.8	-	8.3	2.8
	パート・アルバイト	116	37.1	35.3	18.1	0.9	-	7.8	0.9
	学生	11	36.4	54.5	9.1	-	-	-	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	34.6	35.3	9.8	-	-	15.8	4.5
	無職	180	23.9	40.6	16.7	1.1	-	12.8	5.0
	その他	26	26.9	42.3	11.5	3.8	-	7.7	7.7
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	31.3	37.3	16.9	1.1	-	10.9	2.4
	結婚していたが、死別・離婚した	100	25.0	50.0	12.0	-	-	8.0	5.0
	結婚したことがない（未婚）	99	20.2	48.5	12.1	2.0	-	13.1	4.0

⑥法律や制度の上で

- 【全体】**
- 「平等である」が33.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が30.9%、「わからない」が14.0%となっています。
- 【性・年齢】**
- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、“男性の方が優遇されている”が多く、男性では女性に比べ、“女性の方が優遇されている”が多くなっています。
 - 男性 20歳代では他の区分に比べ、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が多くなっています。
- 【職業】**
- 職業をみると、パート・アルバイト、主婦・主夫（家事専業）では、他の職業に比べ、“男性の方が優遇されている”が多くなっています。
 - 主婦・主夫（家事専業）では、「平等である」が特に少なくなっています。
- 【結婚状況】**
- 結婚状況をみると、「結婚している（事実婚含む）」人では他の結婚状況の人に比べ、「男性の方が優遇されている」が多くなっています。

【⑥法律や制度の上で】



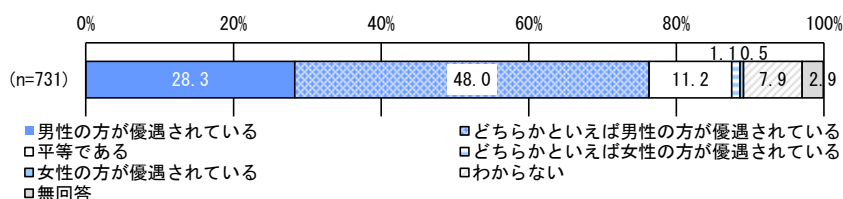
単位：%

		母数 (n)	問9 ⑥法律や制度の上で						
			男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		731	13.3	30.9	33.4	3.7	0.8	14.0	4.0
性・年齢	男性 20歳代	34	5.9	20.6	23.5	20.6	-	29.4	-
	30歳代	20	-	35.0	35.0	10.0	-	20.0	-
	40歳代	37	8.1	21.6	51.4	10.8	2.7	5.4	-
	50歳代	44	13.6	25.0	45.5	4.5	6.8	2.3	2.3
	60歳代	78	10.3	34.6	39.7	3.8	1.3	7.7	2.6
	70歳以上	94	5.3	17.0	59.6	-	-	14.9	3.2
	女性 20歳代	22	9.1	36.4	40.9	4.5	-	9.1	-
	30歳代	45	8.9	42.2	26.7	4.4	-	15.6	2.2
	40歳代	71	26.8	33.8	19.7	4.2	-	11.3	4.2
	50歳代	64	25.0	37.5	23.4	-	-	12.5	1.6
60歳代	80	12.5	38.8	21.3	1.3	1.3	22.5	2.5	
70歳以上	132	16.7	32.6	24.2	1.5	-	14.4	10.6	
その他 20歳代	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	10.7	31.7	38.8	6.3	1.8	9.4	1.3
	自営業	36	11.1	27.8	36.1	2.8	2.8	16.7	2.8
	パート・アルバイト	116	18.1	33.6	31.9	3.4	-	11.2	1.7
	学生	11	9.1	27.3	36.4	9.1	-	18.2	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	19.5	36.8	18.8	2.3	-	17.3	5.3
	無職	180	10.0	24.4	39.4	1.1	0.6	17.8	6.7
	その他	26	11.5	34.6	26.9	7.7	-	11.5	7.7
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	15.4	30.5	34.3	3.2	0.8	12.8	3.0
	結婚していたが、死別・離婚した	100	9.0	35.0	30.0	1.0	2.0	16.0	7.0
	結婚したことがない（未婚）	99	6.1	29.3	32.3	9.1	-	18.2	5.1

⑦社会通念・習慣・しきたりなどで

- 【全体】**
- 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が48.0%で最も多く、次いで「男性の方が優遇されている」が28.3%、「平等である」が11.2%となっています。
- 【性・年齢】**
- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、「男性の方が優遇されている」が多く、30歳代、40歳代で特に多くなっています。
 - 男性 20歳代では「平等である」が23.5%と他の区分に比べ多くなっていますが、女性20歳代では4.5%と少なくなっています。
- 【職業】**
- 職業をみると、学生では他の職業に比べ、「男性の方が優遇されている」が多くなっています。
- 【結婚状況】**
- 結婚状況をみると、「結婚している（事実婚含む）」人では、他の結婚状況の人に比べ、「男性の方が優遇されている」が多くなっています。

【⑦社会通念・習慣・しきたりなどで】



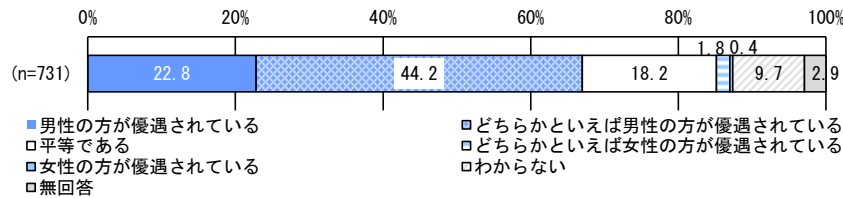
単位：%

		母数 (n)	問9 ⑦社会通念・習慣・しきたりなどで					わからない	無回答
			男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている		
全体		731	28.3	48.0	11.2	1.1	0.5	7.9	2.9
性・年齢	男性 20歳代	34	14.7	41.2	23.5	-	2.9	17.6	-
	30歳代	20	15.0	50.0	15.0	5.0	-	15.0	-
	40歳代	37	24.3	54.1	10.8	-	2.7	8.1	-
	50歳代	44	38.6	43.2	9.1	4.5	-	4.5	-
	60歳代	78	19.2	60.3	12.8	1.3	1.3	2.6	2.6
	70歳以上	94	13.8	55.3	18.1	1.1	-	9.6	2.1
	女性 20歳代	22	27.3	54.5	4.5	-	-	13.6	-
	30歳代	45	42.2	42.2	11.1	-	-	2.2	2.2
	40歳代	71	42.3	38.0	5.6	1.4	1.4	5.6	5.6
	50歳代	64	43.8	45.3	3.1	-	-	7.8	-
60歳代	80	36.3	43.8	8.8	-	-	8.8	2.5	
70歳以上	132	23.5	47.7	12.1	1.5	-	9.1	6.1	
その他 20歳代	1	-	100.0	-	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	25.4	54.0	11.6	1.3	0.9	5.4	1.3
	自営業	36	19.4	55.6	13.9	2.8	-	8.3	-
	パート・アルバイト	116	38.8	41.4	9.5	0.9	-	8.6	0.9
	学生	11	45.5	45.5	-	-	-	9.1	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	32.3	48.9	9.0	-	0.8	6.0	3.0
	無職	180	24.4	43.3	13.3	1.7	0.6	11.7	5.0
	その他	26	19.2	50.0	15.4	-	-	7.7	7.7
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	29.9	49.0	11.5	0.8	0.4	6.2	2.3
	結婚していたが、死別・離婚した	100	24.0	47.0	9.0	2.0	-	14.0	4.0
	結婚したことがない（未婚）	99	24.2	44.4	12.1	2.0	2.0	11.1	4.0

⑧自治会などの地域社会の場で

- 【全体】**
- 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が44.2%で最も多く、次いで「男性の方が優遇されている」が22.8%、「平等である」が18.2%となっています。
- 【性・年齢】**
- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、「男性の方が優遇されている」が多く、特に40歳代では他の区分に比べ10%以上多くなっています。
- 【職業】**
- 職業をみると、自営業では他の職業に比べ、「平等である」が多くなっています。
 - 学生では、「男性の方が優遇されている」が45.5%で最も多くなっています。
- 【結婚状況】**
- 結婚状況をみると、「結婚している（事実婚含む）」人では、「男性の方が優遇されている」が約7割、「結婚していたが、死別・離婚した」人では約6割、「結婚したことがない（未婚）」人では約5割となっています。

【⑧自治会などの地域社会の場で】



単位：%

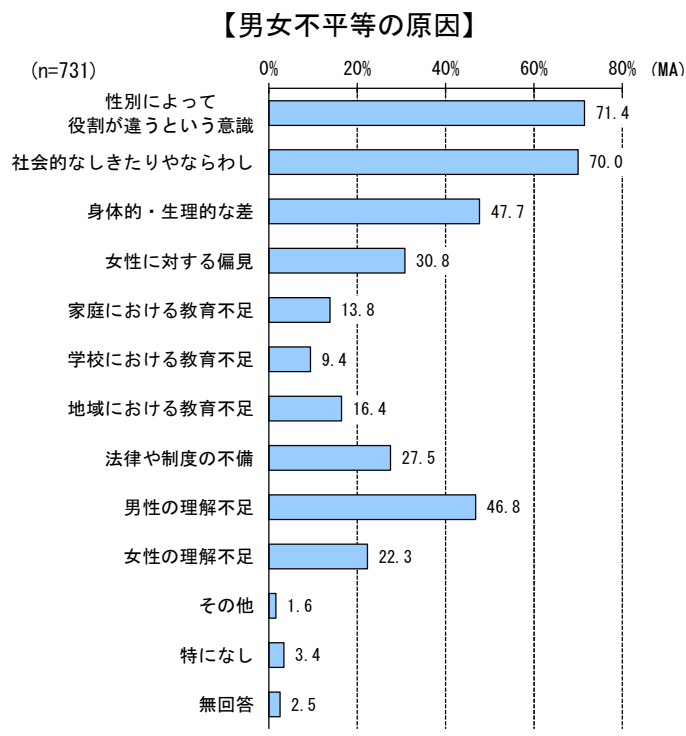
		母数 (n)	問9 ⑧自治会などの地域社会の場で						わからない	無回答
			男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている			
全体		731	22.8	44.2	18.2	1.8	0.4	9.7	2.9	
性・年齢	男性 20歳代	34	11.8	38.2	23.5	5.9	-	20.6	-	
	30歳代	20	-	45.0	25.0	10.0	-	20.0	-	
	40歳代	37	27.0	45.9	13.5	2.7	-	10.8	-	
	50歳代	44	15.9	52.3	22.7	-	2.3	6.8	-	
	60歳代	78	17.9	47.4	24.4	1.3	1.3	5.1	2.6	
	70歳以上	94	16.0	41.5	28.7	2.1	-	8.5	3.2	
	女性 20歳代	22	27.3	36.4	13.6	-	-	22.7	-	
	30歳代	45	28.9	40.0	17.8	-	-	11.1	2.2	
	40歳代	71	43.7	32.4	9.9	2.8	-	8.5	2.8	
	50歳代	64	29.7	48.4	10.9	1.6	-	9.4	-	
60歳代	80	23.8	55.0	10.0	1.3	1.3	7.5	1.3		
70歳以上	132	22.0	43.2	18.2	0.8	-	8.3	7.6		
その他 20歳代	1	-	100.0	-	-	-	-	-		
職業	会社員・公務員	224	19.2	46.9	18.3	2.7	0.4	12.1	0.4	
	自営業	36	13.9	52.8	25.0	-	-	8.3	-	
	パート・アルバイト	116	32.8	40.5	17.2	2.6	0.9	5.2	0.9	
	学生	11	45.5	36.4	9.1	-	-	9.1	-	
	主婦・主夫（家事専業）	133	24.8	48.9	12.8	-	-	9.0	4.5	
	無職	180	21.7	39.4	22.2	1.7	0.6	9.4	5.0	
	その他	26	15.4	42.3	19.2	3.8	-	11.5	7.7	
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	23.7	46.9	17.1	2.1	0.4	7.3	2.4	
	結婚していたが、死別・離婚した	100	21.0	41.0	19.0	-	1.0	14.0	4.0	
	結婚したことがない（未婚）	99	20.2	33.3	23.2	2.0	-	18.2	3.0	

(3) 男女不平等の原因

問10 社会において男女の不平等が生じる原因は何だと思いますか。

【全体】
 ○ 「性別によって役割が違うという意識」が71.4%で最も多く、次いで「社会的なしきたりやならわし」が70.0%、「身体的・生理的な差」が47.7%となっています。

【性・年齢】
 ○ 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、「社会的なしきたりやならわし」が多くなっています。



	母数 (n)	問10 社会において男女の不平等が生じる原因は何だと思いますか。(MA)												
		性別によって役割が違うという意識	社会的なしきたりやならわし	身体的・生理的な差	女性に対する偏見	家庭における教育不足	学校における教育不足	地域における教育不足	法律や制度の不備	男性の理解不足	女性の理解不足	その他	特になし	無回答
全体	731	71.4	70.0	47.7	30.8	13.8	9.4	16.4	27.5	46.8	22.3	1.6	3.4	2.5
性・年齢	男性	34	64.7	67.6	47.1	32.4	5.9	2.9	11.8	14.7	47.1	44.1	5.9	-
	20歳代	20	70.0	65.0	50.0	10.0	5.0	-	5.0	20.0	50.0	30.0	-	-
	30歳代	37	75.7	54.1	56.8	21.6	2.7	2.7	8.1	35.1	56.8	35.1	-	-
	40歳代	44	72.7	72.7	63.6	27.3	4.5	6.8	15.9	25.0	54.5	15.9	4.5	4.5
	50歳代	78	64.1	70.5	44.9	25.6	9.0	5.1	19.2	25.6	32.1	11.5	2.6	3.8
	60歳代	94	71.3	61.7	40.4	16.0	10.6	8.5	14.9	21.3	34.0	13.8	-	10.6
	70歳以上	22	72.7	81.8	36.4	18.2	22.7	36.4	4.5	40.9	36.4	31.8	4.5	-
	女性	45	68.9	75.6	48.9	37.8	11.1	11.1	11.1	28.9	60.0	31.1	4.4	-
	20歳代	71	73.2	77.5	52.1	33.8	12.7	8.5	18.3	25.4	50.7	16.9	2.8	1.4
	30歳代	64	76.6	82.8	54.7	46.9	23.4	9.4	21.9	35.9	51.6	23.4	-	1.6
	40歳代	80	78.8	82.5	47.5	37.5	15.0	7.5	18.8	36.3	55.0	27.5	1.3	1.3
	50歳代	132	69.7	60.6	44.7	37.9	20.5	14.4	20.5	26.5	47.7	22.0	-	4.5
	60歳代	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	71.4	74.6	50.9	27.2	9.4	6.7	12.5	27.2	52.2	27.7	3.6	1.8
	自営業	36	77.8	61.1	47.2	19.4	16.7	2.8	16.7	27.8	63.9	19.4	-	-
	パート・アルバイト	116	67.2	75.0	51.7	34.5	17.2	7.8	19.0	25.0	44.0	19.8	-	2.6
	学生	11	81.8	72.7	36.4	18.2	-	9.1	18.2	36.4	27.3	27.3	-	-
	主婦・主夫(家事専業)	133	75.2	77.4	47.4	45.1	18.8	14.3	21.8	36.8	52.6	22.6	2.3	1.5
	無職	180	71.7	57.8	41.1	25.6	13.9	10.6	15.0	23.3	35.0	18.3	-	8.9
	その他	26	61.5	69.2	65.4	30.8	11.5	15.4	19.2	23.1	53.8	19.2	3.8	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 家庭生活について

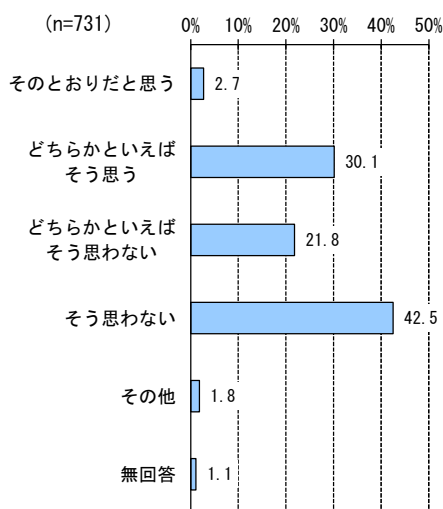
(1) 男女の役割についての考え方

問11 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

【全体】
○ 「そう思わない」が42.5%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.1%、「どちらかといえばそう思わない」が21.8%となっています。
【性・年齢】
○ 性・年齢をみると、男性では女性に比べ、「そのとおりだと思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が約1割多くなっています。
○ 男女ともに、年代が若いほど“そう思わない”が多い傾向があり、女性 20歳代では特に多くなっています。
【職業】
○ 職業をみると、会社員・公務員、学生では、「そう思わない」が5割を超えています。
○ 主婦・主夫（家事専業）では、“そう思う”が31.6%と、無職に次いで多くなっています。
【結婚状況】
○ 結婚状況をみると、「結婚している（事実婚含む）」人、「結婚していたが、死別・離婚した」人では、“そう思う”が3割を超えています。が、「結婚したことがない（未婚）」人で16.1%となっています。

【「男は仕事、女は家庭」という考え方について】

単位：%



		母数 (n)	問11 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう 思いますか。					無 回 答	
			そ の と お り だ と 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	そ の 他		
全体		731	2.7	30.1	21.8	42.5	1.8	1.1	
性・ 年 齢	男性	20歳代	34	-	17.6	35.3	41.2	5.9	-
		30歳代	20	5.0	30.0	15.0	50.0	-	-
		40歳代	37	-	45.9	16.2	35.1	2.7	-
		50歳代	44	4.5	38.6	13.6	40.9	2.3	-
		60歳代	78	3.8	38.5	17.9	37.2	1.3	1.3
		70歳以上	94	6.4	44.7	18.1	29.8	-	1.1
	女性	20歳代	22	-	13.6	4.5	81.8	-	-
		30歳代	45	2.2	20.0	24.4	48.9	2.2	2.2
		40歳代	71	-	21.1	23.9	50.7	2.8	1.4
		50歳代	64	1.6	15.6	23.4	59.4	-	-
		60歳代	80	-	25.0	23.8	48.8	2.5	-
		70歳以上	132	4.5	32.6	27.3	32.6	1.5	1.5
	その他	20歳代	1	-	-	-	100.0	-	-
		30歳代	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	-	-	-	-	-	-	-	
	50歳代	-	-	-	-	-	-	-	
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	
	70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	
職 業	会社員・公務員	224	1.3	28.1	15.6	53.1	1.8	-	
	自営業	36	2.8	22.2	44.4	30.6	-	-	
	パート・アルバイト	116	2.6	24.1	25.0	44.8	3.4	-	
	学生	11	-	9.1	36.4	54.5	-	-	
	主婦・主夫（家事専業）	133	2.3	31.6	28.6	34.6	2.3	0.8	
	無職	180	5.6	39.4	17.8	35.0	-	2.2	
	その他	26	-	23.1	19.2	50.0	3.8	3.8	
結 婚 状 況	結婚している（事実婚含む）	531	2.8	33.3	20.2	41.1	1.7	0.9	
	結婚していたが、死別・離婚した	100	3.0	29.0	28.0	39.0	1.0	-	
	結婚したことがない（未婚）	99	2.0	14.1	24.2	54.5	3.0	2.0	

(参考：他調査との比較)

【内閣府実施世論調査】

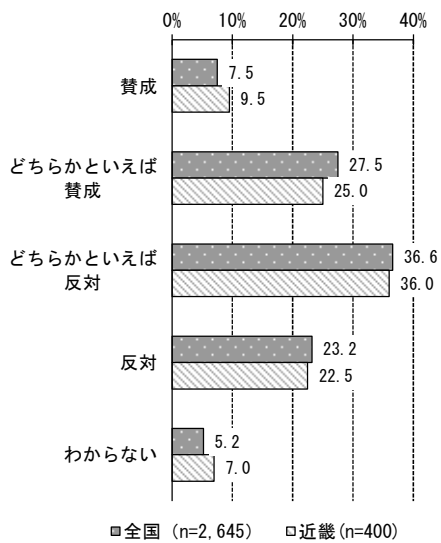
- 内閣府が実施した調査と比較すると、全国では、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は35.0%、「どちらかといえば反対」「反対」を合わせた“反対”は59.8%となっています。
- 今回調査において福崎町では、「そのとおりだと思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“賛成”は32.8%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“反対”は64.3%となっています。

【前回調査】

- 前回調査と比較すると、“賛成”は10.4ポイント減少し、“反対”は12.4ポイント増加しています。

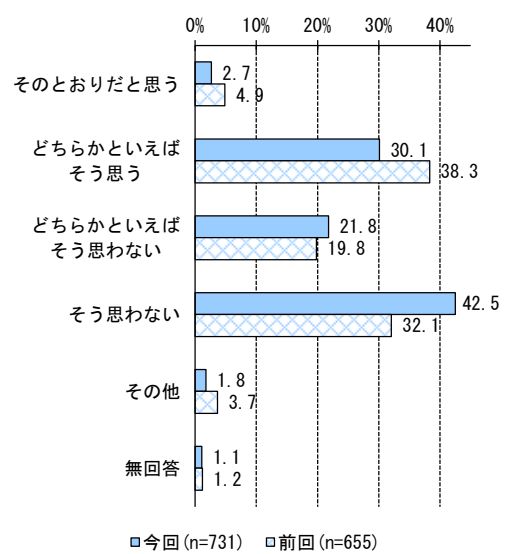
内閣府実施調査との比較

問：「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどうかお考えですか。



前回調査との比較

問：「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(再掲)



資料：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年度）

問 12 あなたは女性が仕事をするについて、どのように思いますか。

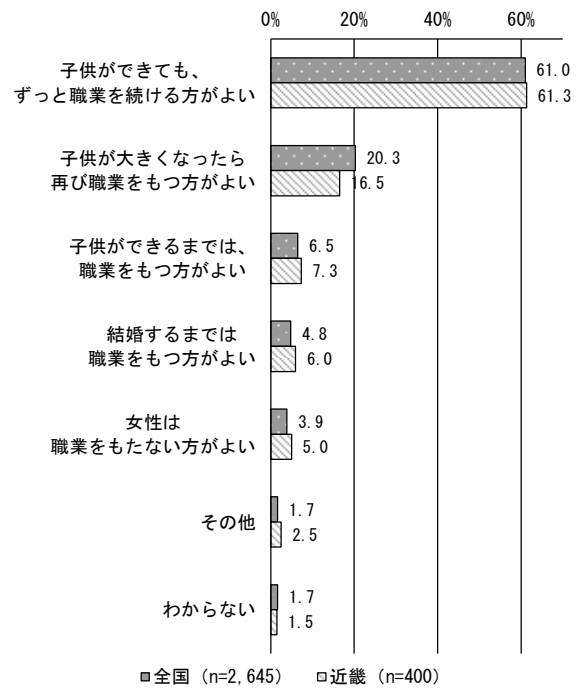
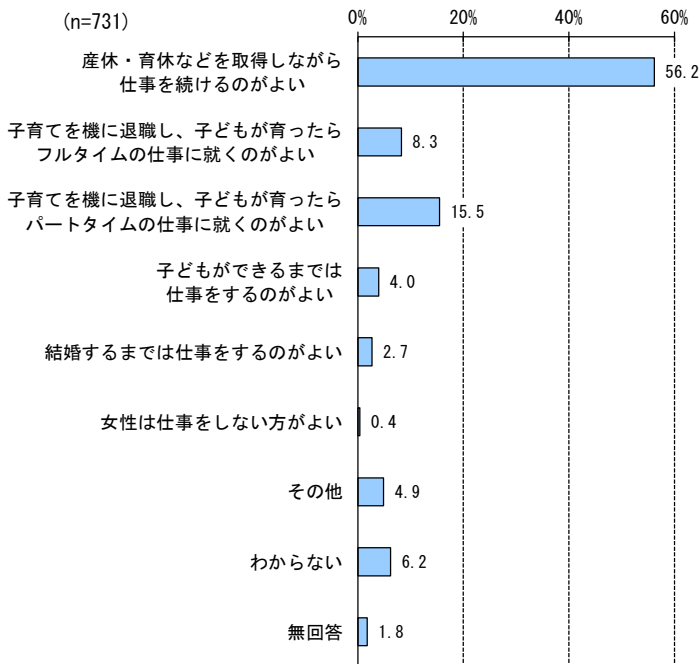
【全体】

- 「産休・育休などを取得しながら仕事を続けるのがよい」が56.2%で最も多く、次いで「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」が15.5%となっています。

(参考：内閣府実施調査との比較)

問：一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えですか。

【女性の仕事について】



資料：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和元年度)

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、男性 20歳代では「産休・育休などを取得しながら仕事を続けるのがよい」が47.1%ですが、女性 20歳代では72.7%となっています。

【職業】

- 職業をみると、自営業では他の職業に比べ、「子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい」が19.4%と多くなっています。
- パート・アルバイト、主婦・主夫（家事専業）では他の職業に比べ、「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」がやや多くなっています。

【結婚状況】

- 結婚状況をみると、「結婚したことがない（未婚）」人では他の結婚状況の人に比べ、「産休・育休などを取得しながら仕事を続けるのがよい」が多く、「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」が少なくなっています。

単位：%

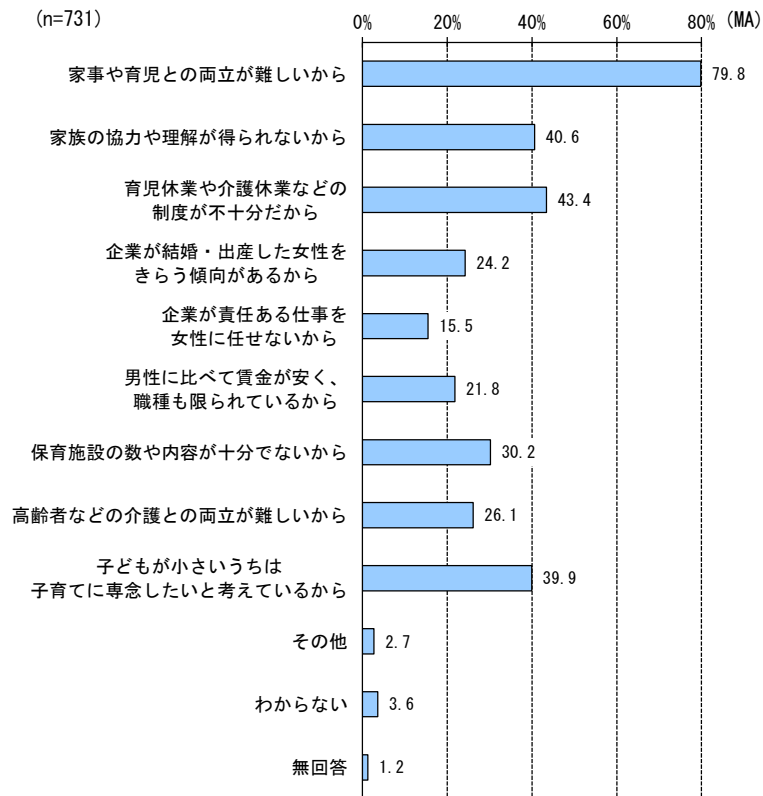
		母数 (n)	問12 あなたは女性が仕事をするについて、どのように思いますか。								
			続 産 休 の が よ い	ら 子 育 て を 機 に 退 職 し 、 子 ど も が 育 つ た	ら 子 育 て を 機 に 退 職 し 、 子 ど も が 育 つ た	よ い 子 ど も が で き る ま で は し 事 を す る の が	結 婚 す る ま で は し 事 を す る の が よ い	女 性 は し 事 を し な い 方 が よ い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		731	56.2	8.3	15.5	4.0	2.7	0.4	4.9	6.2	1.8
性・年齢	男性 20歳代	34	47.1	11.8	14.7	-	2.9	-	11.8	11.8	-
	30歳代	20	60.0	-	10.0	5.0	5.0	-	10.0	10.0	-
	40歳代	37	67.6	2.7	16.2	2.7	-	-	8.1	2.7	-
	50歳代	44	63.6	6.8	18.2	4.5	-	-	4.5	2.3	-
	60歳代	78	56.4	7.7	19.2	6.4	1.3	1.3	5.1	1.3	1.3
	70歳以上	94	42.6	11.7	13.8	9.6	8.5	1.1	-	10.6	2.1
	女性 20歳代	22	72.7	9.1	9.1	-	-	-	4.5	4.5	-
	30歳代	45	42.2	11.1	20.0	2.2	2.2	-	11.1	8.9	2.2
	40歳代	71	54.9	12.7	9.9	1.4	-	1.4	7.0	11.3	1.4
	50歳代	64	70.3	3.1	12.5	1.6	-	-	4.7	4.7	3.1
	60歳代	80	72.5	7.5	12.5	1.3	1.3	-	3.8	1.3	-
	70歳以上	132	48.5	9.1	19.7	5.3	4.5	-	3.0	6.8	3.0
	その他 20歳代	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	61.6	8.5	14.7	2.7	0.9	-	6.7	4.5	0.4
	自営業	36	50.0	19.4	5.6	5.6	5.6	-	5.6	8.3	-
	パート・アルバイト	116	53.4	7.8	19.8	3.4	1.7	-	7.8	5.2	0.9
	学生	11	63.6	-	9.1	-	-	-	9.1	18.2	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	54.1	6.8	21.8	3.0	3.8	0.8	3.0	6.0	0.8
	無職	180	53.9	8.3	12.8	6.7	4.4	1.1	1.1	8.3	3.3
	その他	26	57.7	7.7	3.8	3.8	3.8	-	11.5	3.8	7.7
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	55.7	8.5	17.1	3.8	3.2	0.6	4.5	5.1	1.5
	結婚していたが、死別・離婚した	100	53.0	8.0	13.0	9.0	2.0	-	5.0	9.0	1.0
	結婚したことがない（未婚）	99	62.6	8.1	9.1	-	1.0	-	7.1	9.1	3.0

問 13 結婚や出産を機に仕事をやめる女性がありますが、その理由は何だと思えますか。

【全体】

- 「家事や育児との両立が難しいから」が79.8%で最も多く、次いで「育児休業や介護休業などの制度が不十分だから」が43.4%、「家族の協力や理解が得られないから」が40.6%となっています。

【女性が結婚や仕事を機に仕事を辞める原因】



【性・年齢】

- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、「家族の協力や理解が得られないから」が約20%多くなっています。
- 女性 20歳代では他の区分に比べ、「保育施設の数や内容が十分でないから」が多くなっています。

【職業】

- 職業をみると、パート・アルバイトでは他の職業に比べ、「家族の協力や理解が得られないから」が多くなっています。
- 学生では他の職業に比べ、「保育施設の数や内容が十分でないから」、「企業が結婚・出産した女性を嫌う傾向があるから」が多くなっています。

【結婚状況】

- 結婚状況をみると、「結婚している（事実婚含む）」人、「結婚していたが、死別・離婚した」人では、「結婚したことがない（未婚）」人に比べ、「育児休業や介護休業などの制度が不十分だから」「子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから」が多くなっています。

単位：%

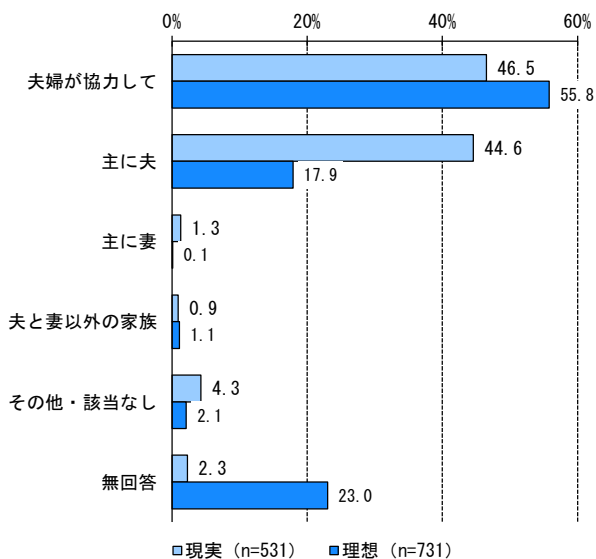
		母数 (n)	問13 結婚や出産を機に仕事をやめる女性がありますが、その理由は何だと思いますか。(MA)											無回答	
			家事や育児との両立が難しいから	家族の協力や理解が得られないから	育児休業や介護休業などの制度が不十分だから	企業が結婚・出産した女性をきらう傾向があるから	企業が責任ある仕事に任せないから	職種にも限られて賃金が安く、男性に比べているから	保育施設の内容が十分でないから	高齢者などの介護との両立が難しいから	子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから	その他	わからない		
全体		731	79.8	40.6	43.4	24.2	15.5	21.8	30.2	26.1	39.9	2.7	3.6	1.2	
性・年齢	男性														
	20歳代	34	91.2	23.5	29.4	29.4	11.8	17.6	29.4	11.8	35.3	5.9	-	-	
	30歳代	20	80.0	40.0	40.0	40.0	15.0	20.0	25.0	15.0	40.0	5.0	15.0	-	
	40歳代	37	86.5	45.9	43.2	21.6	16.2	10.8	27.0	18.9	45.9	-	-	-	
	50歳代	44	72.7	31.8	36.4	20.5	22.7	18.2	40.9	22.7	45.5	4.5	6.8	-	
	60歳代	78	76.9	26.9	43.6	30.8	11.5	23.1	25.6	23.1	39.7	3.8	2.6	1.3	
	70歳以上	94	76.6	20.2	43.6	16.0	17.0	19.1	21.3	28.7	31.9	1.1	6.4	1.1	
	女性														
	20歳代	22	68.2	36.4	54.5	36.4	18.2	18.2	59.1	13.6	45.5	-	-	-	
	30歳代	45	84.4	51.1	46.7	31.1	20.0	24.4	33.3	17.8	57.8	4.4	2.2	2.2	
	40歳代	71	85.9	59.2	49.3	31.0	18.3	28.2	25.4	16.9	45.1	1.4	1.4	1.4	
	50歳代	64	85.9	65.6	42.2	31.3	12.5	25.0	34.4	29.7	40.6	3.1	1.6	-	
	60歳代	80	81.3	53.8	52.5	22.5	13.8	23.8	46.3	42.5	37.5	6.3	2.5	-	
	70歳以上	132	75.8	35.6	39.4	15.2	15.2	22.0	24.2	34.1	34.8	0.8	4.5	2.3	
その他															
20歳代	1	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-		
30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
職業	会社員・公務員	224	82.1	38.8	37.1	26.3	14.3	20.5	29.5	20.5	42.9	3.1	2.2	-	
	自営業	36	88.9	36.1	30.6	16.7	19.4	16.7	25.0	25.0	38.9	2.8	2.8	-	
	パート・アルバイト	116	81.9	53.4	44.8	25.0	17.2	24.1	36.2	23.3	44.8	5.2	2.6	-	
	学生	11	81.8	36.4	54.5	45.5	9.1	27.3	63.6	18.2	18.2	-	-	-	
	主婦・主夫（家事専業）	133	78.9	48.1	54.9	27.8	18.0	24.8	36.1	38.3	40.6	2.3	3.8	0.8	
	無職	180	75.6	28.3	44.4	19.4	15.0	19.4	21.7	26.1	34.4	1.1	6.1	2.2	
	その他	26	76.9	50.0	42.3	23.1	7.7	26.9	38.5	34.6	42.3	3.8	3.8	7.7	
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	80.4	42.9	46.0	25.2	16.0	22.8	30.7	26.0	41.6	2.6	3.2	0.9	
	結婚していたが、死別・離婚した	100	75.0	33.0	40.0	19.0	13.0	17.0	29.0	29.0	41.0	3.0	4.0	1.0	
	結婚したことがない（未婚）	99	81.8	36.4	33.3	24.2	15.2	21.2	29.3	24.2	30.3	3.0	5.1	2.0	

(2) 家庭での役割分担の現実と理想

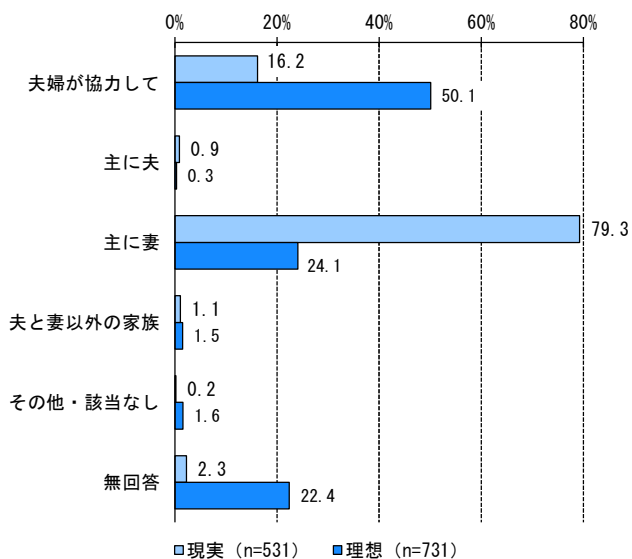
問 14 (結婚している方のみ) あなたの家庭での役割分担はどうなっていますか。(現実)
(すべての方) あなたの理想の役割分担はどのようになっていますか。(理想)

- 「夫婦が協力して」が最も多いのは【⑪近所づきあい】で58.8%、次いで【⑬自治会などの地域活動への参加】が51.4%となっています。
- 理想と現実の差をみると、「夫婦が協力して」において差が最も大きいのは、【③食後の片付け・食器洗い】で37.1ポイント、次いで【②食事の支度】が33.9ポイント、【⑤掃除】が31.9ポイントとなっています。

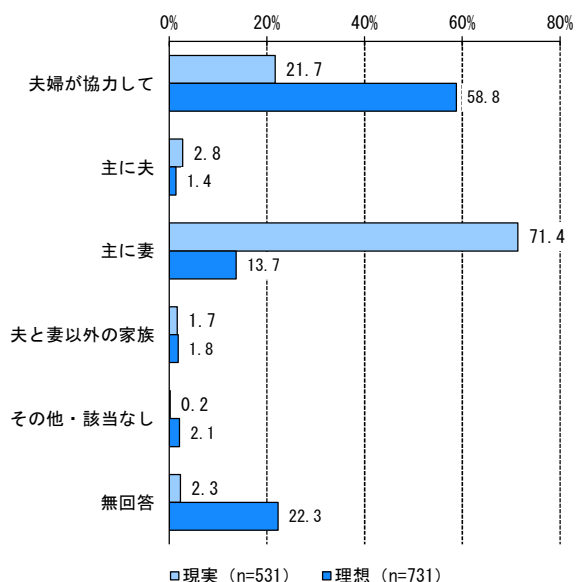
【①生活費を稼ぐ】



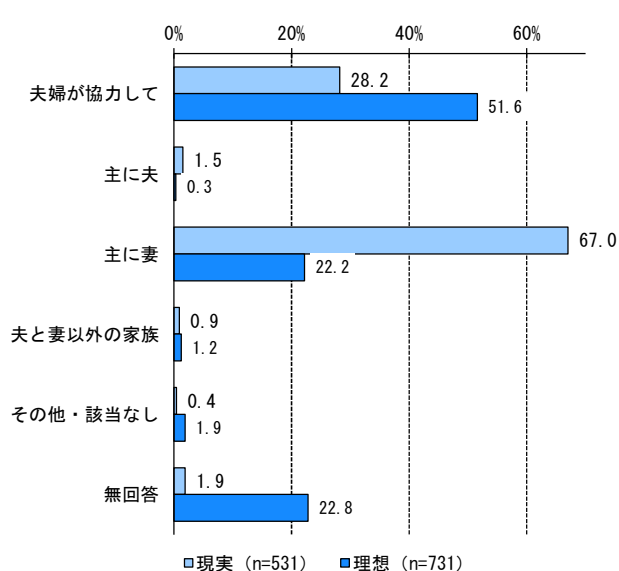
【②食事の支度】



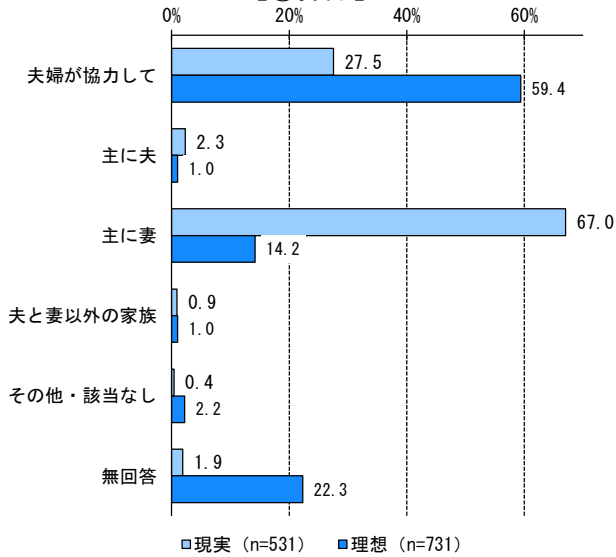
【③食後の片付け・食器洗い】



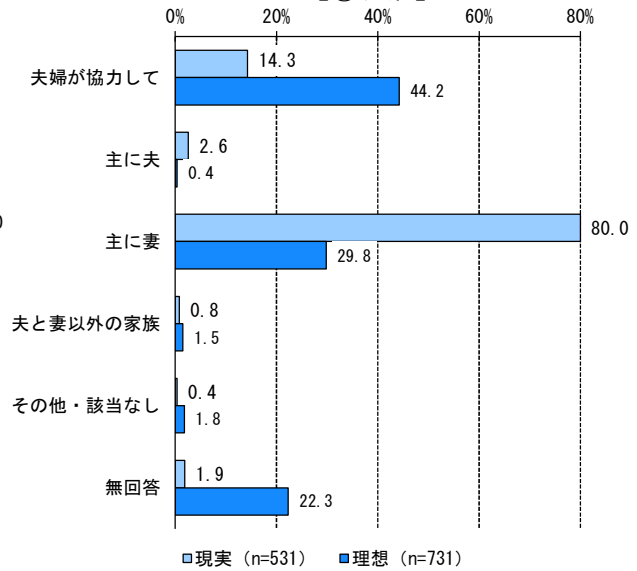
【④日常の買い物】



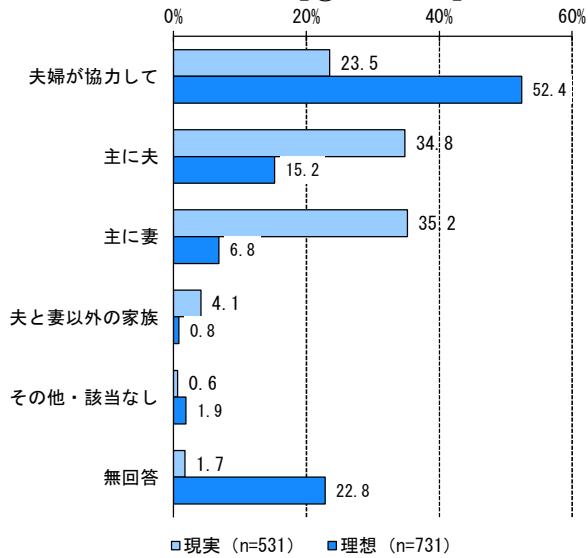
【⑤掃除】



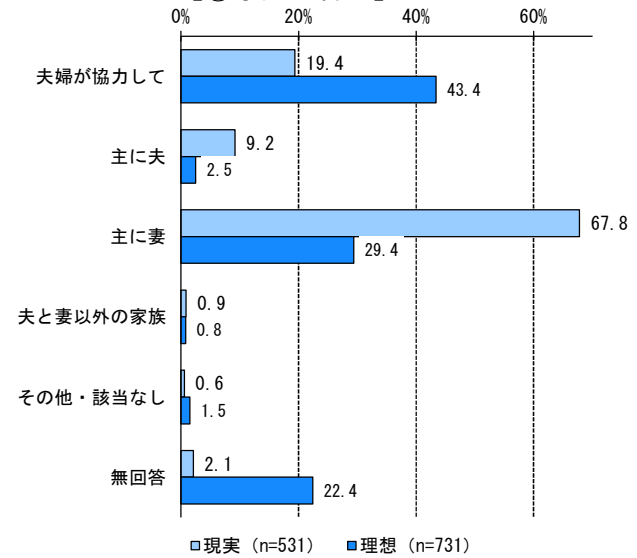
【⑥洗濯】



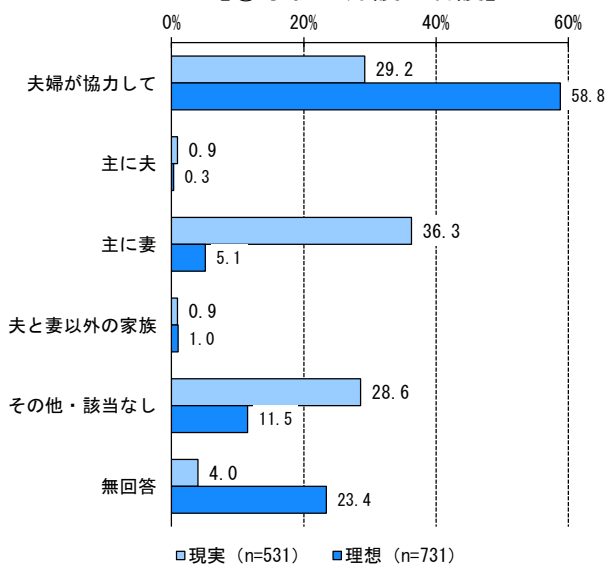
【⑦ごみ出し】



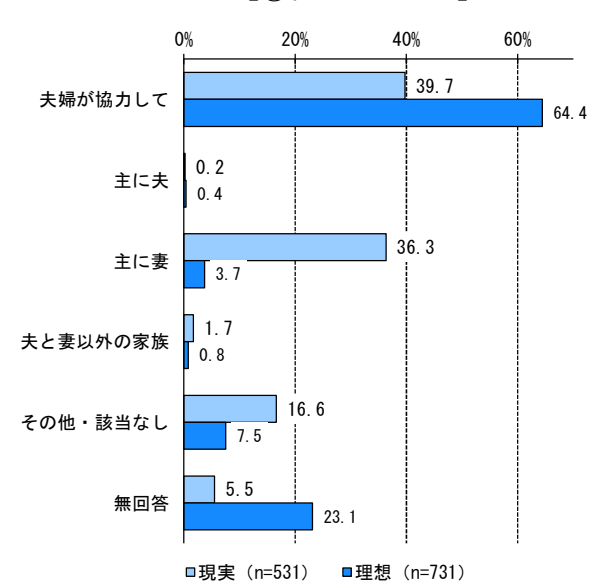
【⑧家計の管理】



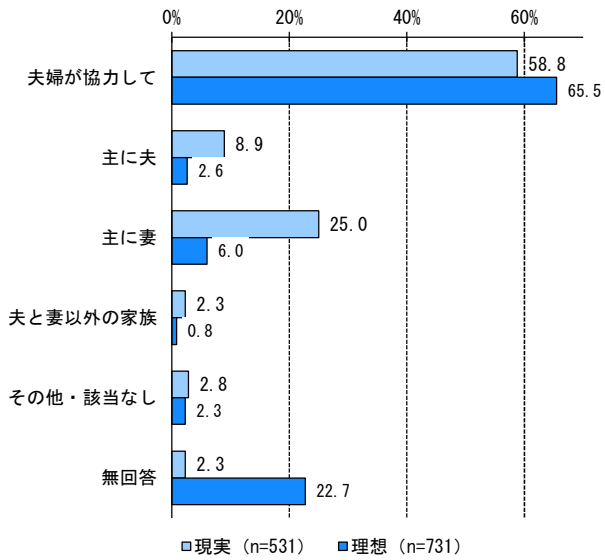
【⑨家族の介護や看護】



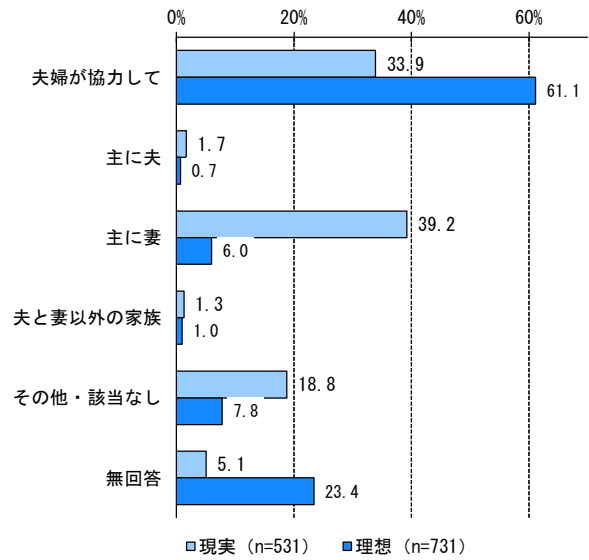
【⑩育児・しつけ】



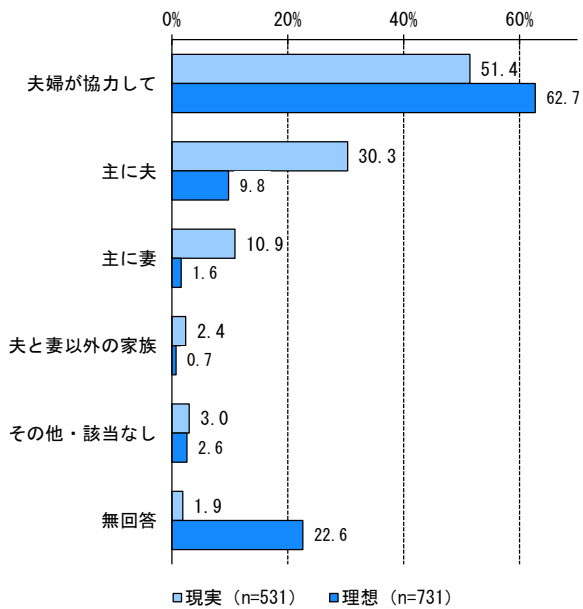
【⑪近所づきあい】



【⑫学校行事などへの参加】



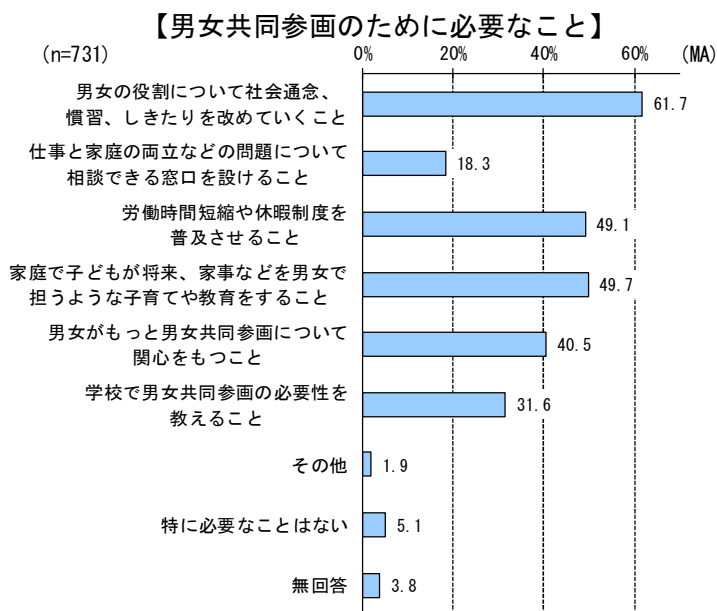
【⑬自治会などの地域活動への参加】



(3) 男女共同参画のために必要なこと

問15 今後、仕事・家庭などあらゆる分野に男女がともに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【全体】
○ 「男女の役割について社会通念、慣習、しきたりを改めていくこと」が61.7%で最も多く、次いで「家庭で子どもが将来、家事などを男女で担うような子育てや教育をすること」が49.7%、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」が49.1%となっています。



		母数 (n)	問15 今後、仕事・家庭などあらゆる分野に男女がともに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(MA)								無回答			
性・年齢	職業		改めていくこと	窓口を設けること	仕事と家庭の両立など	普及させること	労働時間短縮や休暇制度を普及させること	子育てや教育をすること	男女がもっと関心をもつこと	男女がもっと関心をもつこと		男女がもっと関心をもつこと	学校で教えること	その他
全体		731	61.7	18.3	49.1	49.7	40.5	31.6	1.9	5.1	3.8			
性・年齢	男性	20歳代	34	64.7	29.4	61.8	41.2	29.4	20.6	-	2.9	-	-	-
	30歳代	20	70.0	30.0	55.0	45.0	30.0	25.0	-	5.0	5.0	-	-	
	40歳代	37	67.6	16.2	59.5	54.1	32.4	32.4	-	2.7	-	-	-	
	50歳代	44	72.7	15.9	56.8	52.3	34.1	15.9	4.5	6.8	-	-	-	
	60歳代	78	66.7	14.1	39.7	39.7	26.9	3.8	6.4	1.3	-	-	-	
	70歳以上	94	54.3	18.1	33.0	31.9	45.7	29.8	1.1	10.6	9.6	-	-	
	女性	20歳代	22	72.7	18.2	63.6	54.5	36.4	40.9	4.5	-	-	-	-
	30歳代	45	37.8	15.6	60.0	51.1	28.9	33.3	4.4	2.2	2.2	-	-	
	40歳代	71	60.6	12.7	47.9	57.7	32.4	32.4	-	5.6	1.4	-	-	
	50歳代	64	71.9	12.5	56.3	51.6	43.8	31.3	-	3.1	1.6	-	-	
	60歳代	80	68.8	26.3	63.8	53.8	50.0	32.5	2.5	2.5	3.8	-	-	
	70歳以上	132	55.3	18.9	40.9	58.3	47.0	40.2	2.3	4.5	7.6	-	-	
	その他	20歳代	1	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	70.5	15.6	57.6	48.2	36.2	25.9	0.9	4.0	-	-	-	
	自営業	36	61.1	22.2	30.6	66.7	52.8	41.7	2.8	2.8	2.8	-	-	
	パート・アルバイト	116	61.2	21.6	49.1	52.6	39.7	33.6	3.4	3.4	2.6	-	-	
	学生	11	45.5	36.4	45.5	63.6	27.3	54.5	-	-	-	-	-	
	主婦・主夫（家事専業）	133	62.4	20.3	54.9	54.9	45.9	37.6	1.5	3.0	4.5	-	-	
	無職	180	53.3	16.7	38.3	40.0	41.1	28.3	2.2	9.4	8.3	-	-	
	その他	26	53.8	19.2	53.8	57.7	42.3	42.3	3.8	3.8	7.7	-	-	

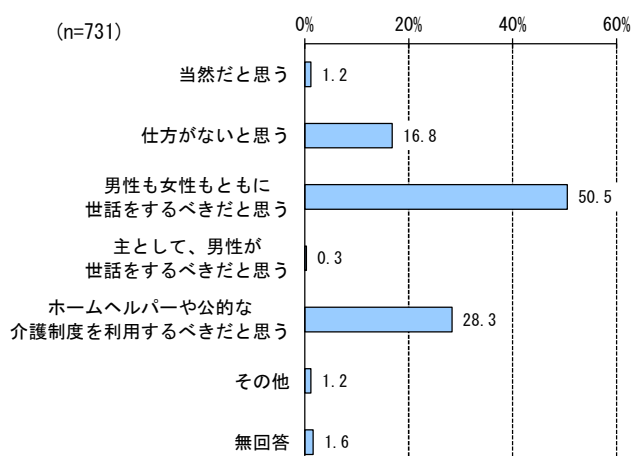
(4) 家庭での介護・育児について

①介護について

問16 家庭での高齢者や病人の世話（介護）の多くは女性がしているといわれていますが、このことをどう思いますか。

【全体】
○ 「男性も女性もともに世話をすべきだと思う」が50.5%で最も多く、次いで「ホームヘルパーや公的な介護制度を利用すべきだと思う」が28.3%となっています。
【性・年齢】
○ 性・年齢をみると、男性では女性に比べ、「仕方がないと思う」が多くなっています。
○ 女性 60歳代では他の区分に比べ、「ホームヘルパーや公的な介護制度を利用すべきだと思う」が42.5%と多くなっています。

【女性が介護を多くすることについて】



		母数 (n)	問16 家庭での高齢者や病人の世話（介護）の多くは女性がしているといわれていますが、このことをどう思いますか。						
			当然 だと思 う	仕 方 が な い と 思 う	と 男 性 も 女 性 も と も に 世 話 を す る べ き だ と 思 う	男 性 が 主 と し て 、 世 話 を す る べ き だ と 思 う	ホ ム ヘル パー や 公 的 な 介 護 制 度 を 利 用 す る べ き だ と 思 う	そ の 他	無 回 答
全体		731	1.2	16.8	50.5	0.3	28.3	1.2	1.6
性・年齢	男性 20歳代	34	-	23.5	52.9	-	17.6	5.9	-
	30歳代	20	5.0	15.0	40.0	-	35.0	5.0	-
	40歳代	37	2.7	18.9	48.6	-	24.3	5.4	-
	50歳代	44	-	22.7	43.2	-	27.3	2.3	4.5
	60歳代	78	-	16.7	57.7	-	24.4	-	1.3
	70歳以上	94	1.1	21.3	48.9	-	26.6	-	2.1
	女性 20歳代	22	-	9.1	63.6	-	27.3	-	-
	30歳代	45	-	15.6	60.0	-	17.8	4.4	2.2
	40歳代	71	1.4	19.7	53.5	-	23.9	-	1.4
	50歳代	64	-	12.5	46.9	-	39.1	1.6	-
	60歳代	80	-	12.5	42.5	1.3	42.5	-	1.3
	70歳以上	132	3.0	15.2	52.3	0.8	26.5	-	2.3
	その他 20歳代	1	-	-	-	-	100.0	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	

問 17 もし、あなたに介護が必要となったら、主に誰に世話をしてもらいたいですか。

【全体】

- 「夫または妻（パートナー）」が 33.8%で最も多く、次いで「病院や老人ホームなどの施設の利用」が 26.9%、「ホームヘルパーや公的な介護制度の利用」が 26.8%となっています。
- 「息子」は 0.7%ですが、「娘」は 7.1%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、男性では「夫または妻（パートナー）」が 49.0%で最も多いですが、女性では「ホームヘルパーや公的な介護制度の利用」が 33.3%で最も多くなっています。

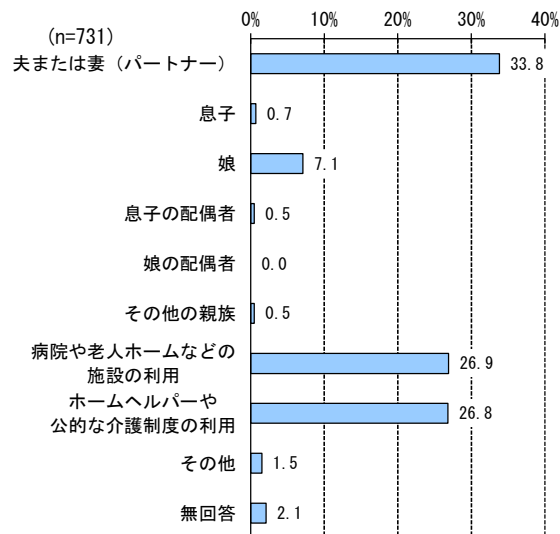
【結婚状況】

- 結婚状況をみると、「結婚している（事実婚含む）」人では、「夫または妻（パートナー）」が 41.8%で最も多くなっています。
- 「結婚していたが、死別・離婚した」人では、「病院や老人ホームなどの施設の利用」が 41.0%で最も多く、次いで「ホームヘルパーや公的な介護制度の利用」が 35.0%、となっています。

【家族構成】

- 家族構成をみると、夫婦だけ、兄弟・姉妹のみ（一世代世帯）では他の家族構成に比べ、「夫または妻（パートナー）」が 45.1%と多くなっています。

【将来の介護者の希望】



		母数 (n)	問17 もし、あなたに介護が必要となったら、主に誰に世話をしてもらいたいですか。									
			(夫または妻 パートナー)	息子	娘	息子の 配偶者	娘の 配偶者	その他の 親族	施設 病院や 老人 ホーム などの 利用	公的 な 介護 制度 の 利用	その他	無 回 答
全体		731	33.8	0.7	7.1	0.5	-	0.5	26.9	26.8	1.5	2.1
性別	男性	308	49.0	0.6	3.9	0.6	-	0.6	24.7	17.5	1.9	1.0
	女性	414	22.7	0.7	9.7	0.5	-	0.5	28.7	33.3	1.2	2.7
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
年齢	20歳代	57	31.6	1.8	5.3	-	-	1.8	31.6	24.6	3.5	-
	30歳代	65	40.0	-	10.8	-	-	1.5	16.9	26.2	3.1	1.5
	40歳代	111	29.7	0.9	8.1	-	-	-	27.0	29.7	2.7	1.8
	50歳代	108	31.5	-	2.8	-	-	-	31.5	31.5	0.9	1.9
	60歳代	159	35.8	-	8.2	-	-	0.6	26.4	26.4	-	2.5
	70歳以上	226	34.1	1.3	7.5	1.8	-	0.4	27.0	24.3	1.3	2.2
結婚 状況	結婚している（事実婚含む）	531	41.8	0.2	7.0	0.2	-	0.4	23.7	24.3	1.1	1.3
	結婚していたが、死別・離婚した	100	3.0	3.0	11.0	3.0	-	-	41.0	35.0	1.0	3.0
	結婚したことがない（未婚）	99	22.2	1.0	4.0	-	-	2.0	30.3	32.3	4.0	4.0
家族 構成	ひとり暮らし（単身世帯）	65	7.7	-	4.6	1.5	-	-	49.2	33.8	3.1	-
	夫婦だけ、兄弟・姉妹のみ（一世代世帯）	204	45.1	-	5.9	-	-	1.5	23.0	23.0	0.5	1.0
	夫婦と親、夫婦と子（二世代世帯）	247	39.3	0.8	6.1	-	-	-	24.7	26.3	2.0	0.8
	ひとり親と子（二世代世帯）	47	10.6	4.3	6.4	-	-	-	38.3	36.2	-	4.3
	親と子と孫（三世代世帯）	98	22.4	1.0	11.2	1.0	-	-	26.5	33.7	2.0	2.0
	その他の世帯	53	39.6	-	9.4	1.9	-	1.9	20.8	15.1	1.9	9.4

②育児休業・介護休業について

問18 育児や家族介護を行うために育児休業や介護休業を取得できる制度がありますが、あなたは、男性が育児休業や介護休業を取ることにどう思いますか。

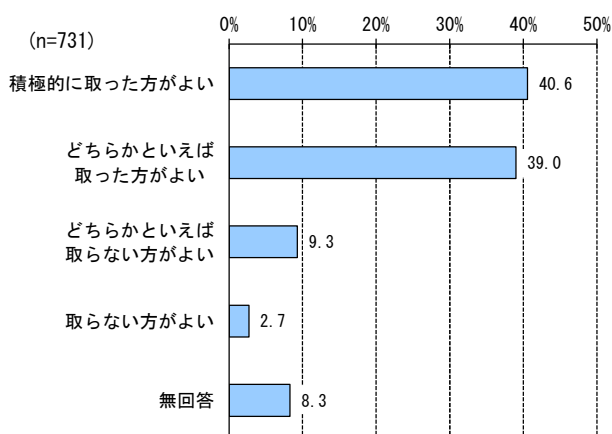
【全体】

- 育児休業、介護休業のいずれについても、「積極的に取った方がよい」「どちらかといえば取った方がよい」を合わせた“取った方がよい”が約8割となっています。介護休業を“取った方がよい”と考える人は、育児休業の場合よりもやや多くなっています。

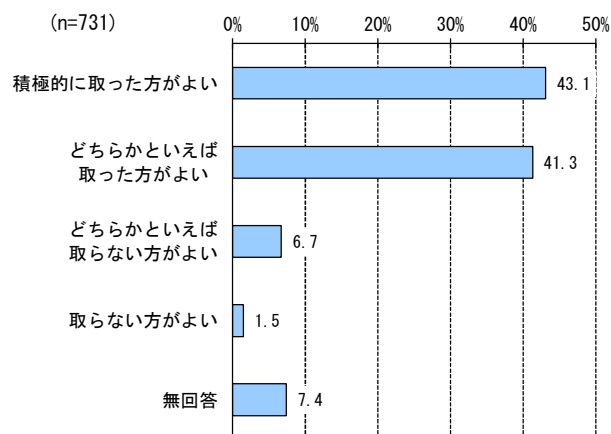
【職業】

- 自営業では他の区分に比べ、「どちらかといえば取らないほうがよい」が多くなっています。
- 育児休業について、パート・アルバイトでは、「積極的に取った方がよい」が53.4%で最も多く、他の職業に比べても多くなっています。

【男性の育児休業】



【男性の介護休業】



単位：%

	母数 (n)	問18 育児や家族介護を行うために育児休業や介護休業を取得できる制度がありますが、あなたは、男性が育児休業や介護休業を取ることにどう思いますか。(育児休業)				
		積極的に取った方がよい	どちらかといえば取った方がよい	どちらかといえば取らない方がよい	取らない方がよい	無回答
全体	731	40.6	39.0	9.3	2.7	8.3
性別						
男性	308	38.3	40.6	10.4	2.6	8.1
女性	414	42.3	37.7	8.7	2.9	8.5
その他	1	100.0	-	-	-	-
年齢						
20歳代	57	52.6	38.6	8.8	-	-
30歳代	65	55.4	24.6	12.3	4.6	3.1
40歳代	111	35.1	42.3	11.7	5.4	5.4
50歳代	108	52.8	37.0	6.5	2.8	0.9
60歳代	159	41.5	42.1	7.5	1.9	6.9
70歳以上	226	29.6	40.3	10.2	2.2	17.7
職業						
会社員・公務員	224	40.6	42.0	11.2	3.6	2.7
自営業	36	13.9	61.1	19.4	-	5.6
パート・アルバイト	116	53.4	33.6	5.2	2.6	5.2
学生	11	36.4	54.5	9.1	-	-
主婦・主夫(家事専業)	133	42.1	36.8	7.5	3.0	10.5
無職	180	35.6	36.1	8.9	2.8	16.7
その他	26	50.0	30.8	11.5	-	7.7
勤務形態						
共働き	102	44.1	36.3	11.8	5.9	2.0
準共働き	144	37.5	44.4	8.3	4.2	5.6
非共働き	116	46.6	37.9	9.5	1.7	4.3
無職	160	36.3	36.3	10.0	1.3	16.3

単位：%

	母数 (n)	問18 育児や家族介護を行うために育児休業や介護休業を取得できる制度がありますが、あなたは、男性が育児休業や介護休業を取ることにどう思いますか。(介護休業)				
		積極的に取った方がよい	どちらかといえば取った方がよい	どちらかといえば取らない方がよい	取らない方がよい	無回答
全体	731	43.1	41.3	6.7	1.5	7.4
性別						
男性	308	40.3	43.5	7.1	1.9	7.1
女性	414	45.7	39.1	6.5	1.2	7.5
その他	1	-	100.0	-	-	-
年齢						
20歳代	57	49.1	43.9	7.0	-	-
30歳代	65	50.8	35.4	7.7	3.1	3.1
40歳代	111	48.6	39.6	5.4	2.7	3.6
50歳代	108	55.6	33.3	6.5	0.9	3.7
60歳代	159	45.3	42.1	6.3	1.3	5.0
70歳以上	226	29.2	46.5	7.5	1.3	15.5
職業						
会社員・公務員	224	50.4	39.7	5.8	2.2	1.8
自営業	36	19.4	58.3	16.7	-	5.6
パート・アルバイト	116	52.6	34.5	6.9	0.9	5.2
学生	11	54.5	36.4	9.1	-	-
主婦・主夫(家事専業)	133	41.4	45.1	4.5	1.5	7.5
無職	180	34.4	40.6	7.2	1.7	16.1
その他	26	38.5	46.2	7.7	-	7.7
勤務形態						
共働き	102	52.0	37.3	6.9	2.0	2.0
準共働き	144	44.4	39.6	8.3	3.5	4.2
非共働き	116	45.7	49.1	4.3	0.9	-
無職	160	37.5	40.6	5.6	-	16.3

問 19 育児や介護で休みを取る男性が少ない現状にあります、その理由は何だと思いますか。

【全体】

- 「職場の理解が得られないから」が 60.2%で最も多く、次いで「職場の雰囲気」が 58.7%、「取得後の職場復帰への不安があるから」が 45.8%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、「仕事の量や責任が大きいから」を除き、女性は男性よりも多く回答していますが、「男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔する」などの気持ちがあるから」ではその差が特に大きくなっています。
- 「職場の雰囲気」は年代が若いほど多くなっています。

【職業】

- 職業をみると、自営業、学生、その他では「休業補償が十分でなく、家計に影響するから」が5割を超えています。

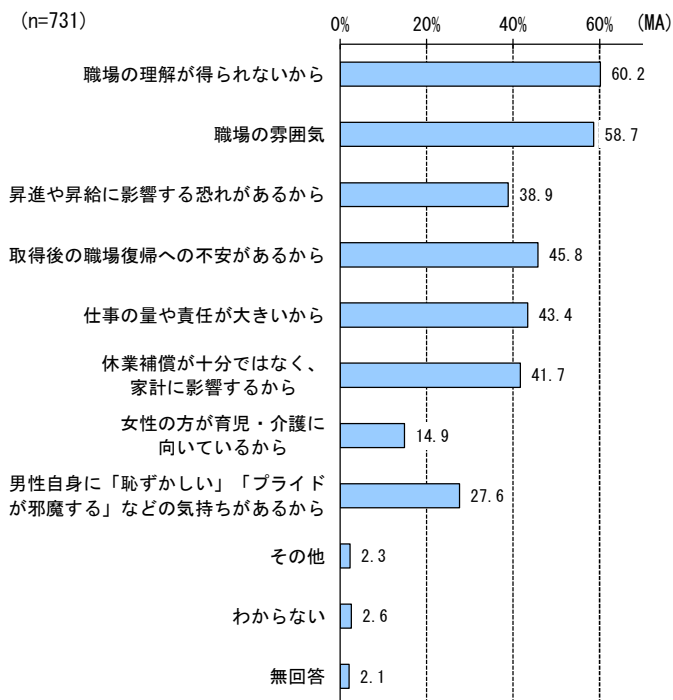
【結婚状況】

- 結婚状況をみると、「結婚したことがない（未婚）」人では、「昇進や昇給に影響する恐れがあるから」が 46.5%で、他の結婚状況の人に比べ多くなっています。

【勤務形態】

- 勤務形態をみると、非共働きでは、「職場の理解が得られないから」が 70.7%で最も多く、他の区分に比べても多くなっています。

【育児や介護で休みを取る男性が少ない理由】



		母数 (n)	問19 育児や介護で休みを取る男性が少ない現状がありますが、その理由は何だと思えますか。(MA)										
			職場の理解が得られないから	職場の雰囲気	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性の方が育児・介護に向いているから	「男性自身に「恥ずかしい」「プライドがあるから」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
全体		731	60.2	58.7	38.9	45.8	43.4	41.7	14.9	27.6	2.3	2.6	2.1
性別	男性	308	52.9	55.8	34.1	42.2	44.8	37.7	14.6	16.6	2.3	3.9	1.0
	女性	414	66.4	61.1	42.5	49.0	42.5	45.2	15.2	35.7	2.4	1.7	2.7
	その他	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
年齢	20歳代	57	63.2	73.7	47.4	49.1	47.4	47.4	12.3	17.5	3.5	-	-
	30歳代	65	64.6	70.8	49.2	40.0	53.8	44.6	6.2	36.9	3.1	1.5	1.5
	40歳代	111	65.8	65.8	46.8	52.3	58.6	46.8	13.5	29.7	2.7	-	1.8
	50歳代	108	67.6	66.7	36.1	40.7	53.7	50.0	10.2	34.3	1.9	2.8	-
	60歳代	159	66.7	59.1	42.8	51.6	36.5	41.5	13.8	28.3	1.3	1.9	2.5
	70歳以上	226	48.2	44.7	28.8	42.0	31.9	33.6	21.7	23.5	2.7	5.3	3.1
職業	会社員・公務員	224	61.2	64.7	40.2	44.2	51.8	42.4	11.6	22.3	2.2	1.3	0.4
	自営業	36	52.8	55.6	33.3	44.4	38.9	52.8	22.2	25.0	-	8.3	2.8
	パート・アルバイト	116	66.4	67.2	40.5	50.9	48.3	49.1	10.3	36.2	2.6	1.7	-
	学生	11	72.7	63.6	63.6	54.5	27.3	54.5	9.1	27.3	9.1	-	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	68.4	61.7	41.4	50.4	39.1	42.1	15.8	35.3	1.5	1.5	2.3
	無職	180	51.1	46.1	32.8	40.6	32.8	31.7	18.3	21.7	2.8	5.0	3.9
	その他	26	57.7	46.2	46.2	53.8	57.7	53.8	26.9	42.3	3.8	-	7.7
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	61.4	60.1	39.7	46.7	45.8	41.4	15.3	28.2	1.5	3.2	0.9
	結婚していたが、死別・離婚した	100	57.0	46.0	27.0	44.0	33.0	41.0	17.0	28.0	6.0	1.0	6.0
	結婚したことがない（未婚）	99	57.6	64.6	46.5	43.4	41.4	44.4	11.1	24.2	3.0	1.0	3.0
勤務形態	共働き	102	65.7	64.7	44.1	44.1	50.0	45.1	15.7	33.3	1.0	3.9	-
	準共働き	144	57.6	63.9	36.1	46.5	50.7	43.1	11.1	28.5	2.1	2.8	0.7
	非共働き	116	70.7	63.8	43.1	45.7	53.4	49.1	18.1	26.7	-	-	0.9
	無職	160	57.5	51.9	37.5	50.6	33.8	33.1	17.5	24.4	2.5	5.0	1.9

5. ワーク・ライフ・バランスについて

(1) ワーク・ライフ・バランスの希望と現実

問 20 生活の中の【仕事、家庭生活、地域活動・個人の時間】のうち、どれを優先したいと希望しますか。

【全体】

- 希望では「仕事と家庭生活の両立」(26.7%)、「仕事、家庭生活、地域活動や個人の時間の並立」(23.3%)が多いですが、現実では「仕事を優先」(37.5%)が最も多くなっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、現実において男性では女性に比べ「仕事を優先」が多く、女性では男性に比べ「仕事と家庭生活の両立」が多くなっています。
- 20歳代、40歳代では「仕事を優先」が4割を超えています。

【職業】

- 職業をみると、会社員・公務員、自営業では、現実において「仕事を優先」が最も多くなっています。特に会社員・公務員では58.9%と、他の職業に比べても多くなっています。
- パート・アルバイトでは、希望と現実双方において「仕事と家庭生活の両立」が32.8%で最も多くなっています。

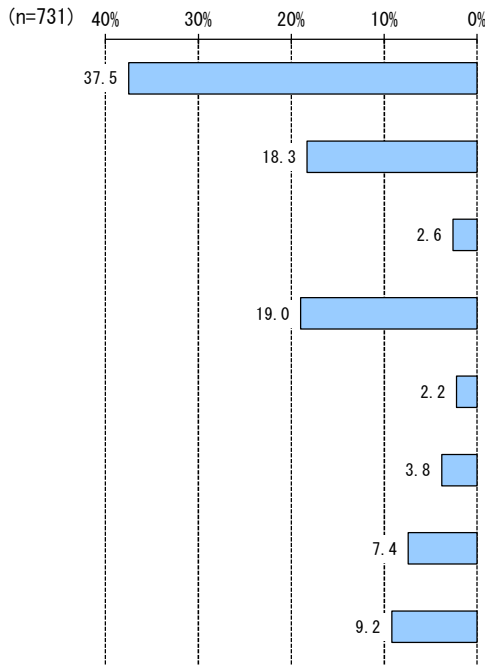
【結婚状況】

- 結婚状況をみると、「結婚したことがない(未婚)」人では、希望では「仕事と家庭生活の両立」が35.4%で最も多いですが、現実では「仕事を優先」が57.6%で最も多くなっています。

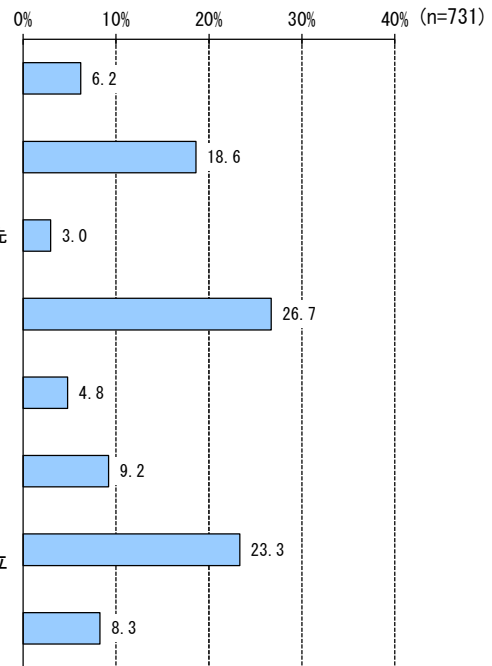
【勤務形態】

- 勤務形態をみると、共働きでは、他の勤務形態に比べ、現実における「仕事を優先」が多くなっています。
- 非共働きでは、現実における「家庭生活を優先」が33.6%で最も多く、他の勤務形態に比べても多くなっています。

【ワーク・ライフ・バランスの現実】



【ワーク・ライフ・バランスの希望】



単位：%

	母数 (n)	問20 生活の中の【仕事、家庭生活、地域活動・個人の時間】のうち、どれを優先したいと希望しますか。(現実)								問20 生活の中の【仕事、家庭生活、地域活動・個人の時間】のうち、どれを優先したいと希望しますか。(希望)								
		仕事を優先	家庭生活を優先	地域活動や個人の時間を優先	仕事と家庭生活の両立	仕事と地域活動や個人の時間の両立	家庭生活と地域活動や個人の時間の両立	仕事、家庭生活、地域活動や個人の時間の並立	無回答	仕事を優先	家庭生活を優先	地域活動や個人の時間を優先	仕事と家庭生活の両立	仕事と地域活動や個人の時間の両立	家庭生活と地域活動や個人の時間の両立	仕事、家庭生活、地域活動や個人の時間の並立	無回答	
全体	731	37.5	18.3	2.6	19.0	2.2	3.8	7.4	9.2	6.2	18.6	3.0	26.7	4.8	9.2	23.3	8.3	
性別	男性	308	48.4	13.0	3.9	13.3	2.6	2.9	7.5	8.4	7.8	18.8	4.9	26.0	7.8	7.5	19.8	7.5
	女性	414	29.2	22.5	1.7	23.7	1.7	4.6	7.5	9.2	4.8	18.4	1.7	27.5	2.7	10.4	25.6	8.9
	その他	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
年齢	20歳代	57	47.4	7.0	3.5	29.8	3.5	-	7.0	1.8	3.5	14.0	5.3	43.9	3.5	3.5	26.3	-
	30歳代	65	38.5	18.5	1.5	24.6	3.1	1.5	4.6	7.7	3.1	21.5	1.5	35.4	3.1	3.1	24.6	7.7
	40歳代	111	48.6	17.1	2.7	21.6	0.9	-	6.3	2.7	1.8	20.7	4.5	32.4	6.3	6.3	26.1	1.8
	50歳代	108	38.9	21.3	0.9	27.8	0.9	0.9	6.5	2.8	3.7	21.3	1.9	28.7	5.6	5.6	33.3	-
	60歳代	159	34.6	22.0	3.1	13.2	2.5	6.3	10.1	8.2	5.0	18.2	2.5	19.5	5.0	15.7	25.8	8.2
	70歳以上	226	30.5	18.1	3.1	13.7	2.7	7.1	7.5	17.3	11.5	17.3	3.1	20.8	4.4	10.6	14.6	17.7
職業	会社員・公務員	224	58.9	6.3	2.2	23.2	0.9	0.9	5.4	2.2	3.1	17.9	3.1	31.7	8.0	5.4	29.9	0.9
	自営業	36	44.4	11.1	2.8	13.9	5.6	-	13.9	8.3	11.1	13.9	2.8	27.8	8.3	2.8	27.8	5.6
	パート・アルバイト	116	27.6	19.8	1.7	32.8	3.4	0.9	9.5	4.3	4.3	18.1	5.2	32.8	2.6	6.9	27.6	2.6
	学生	11	36.4	-	-	45.5	9.1	-	-	9.1	-	-	9.1	63.6	-	9.1	18.2	-
	主婦・主夫(家事専業)	133	18.8	35.3	1.5	11.3	1.5	12.0	8.3	11.3	7.5	21.1	0.8	21.1	0.8	17.3	18.8	12.8
	無職	180	32.2	23.9	4.4	10.0	1.7	4.4	5.6	17.8	8.9	21.7	3.3	18.9	5.0	10.6	13.3	18.3
	その他	26	19.2	11.5	3.8	23.1	7.7	3.8	19.2	11.5	7.7	7.7	-	23.1	3.8	7.7	38.5	11.5
結婚状況	結婚している(事実婚含む)	531	35.0	21.1	2.8	19.4	1.5	4.0	7.5	8.7	5.8	20.0	2.8	26.4	3.8	10.2	24.1	7.0
	結婚していたが、死別・離婚した	100	31.0	16.0	1.0	16.0	5.0	6.0	10.0	15.0	9.0	19.0	-	20.0	9.0	8.0	20.0	15.0
	結婚したことがない(未婚)	99	57.6	6.1	3.0	20.2	3.0	1.0	4.0	5.1	5.1	11.1	7.1	35.4	6.1	5.1	22.2	8.1
勤務形態	共働き	102	52.9	6.9	-	27.5	1.0	1.0	5.9	4.9	3.9	17.6	1.0	36.3	4.9	7.8	26.5	2.0
	準共働き	144	36.1	13.9	2.8	29.9	1.4	1.4	9.0	5.6	1.4	18.8	4.2	31.9	4.9	4.9	30.6	3.5
	非共働き	116	31.0	33.6	5.2	11.2	1.7	2.6	9.5	5.2	6.0	25.0	1.7	24.1	2.6	12.1	26.7	1.7
	無職	160	24.4	28.1	3.1	11.3	1.9	9.4	6.3	15.6	10.0	18.1	3.1	17.5	3.1	15.6	15.6	16.9

(2) ワーク・ライフ・バランスの推進のために必要なこと

問 21 ワーク・ライフ・バランスを推進するために企業や事業所に取り組んでほしいと思うことは何ですか。(MA)

【全体】

- 「休業制度（育児休業や介護休業など）の拡充」が53.5%で最も多く、次いで「短時間勤務、時差出勤など柔軟な勤務形態」が45.8%、「職場の同僚や上司の理解」が41.7%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、男性 20歳代、女性 60歳代では「休業制度（育児休業や介護休業など）の拡充」が7割を超えています。
- 女性 20歳代では他の区分に比べ、「子育て環境の整備（企業内保育所、延長保育など）」が多くなっています。
- 男性 20歳代～30歳代、女性 20歳代では「経済的支援（保育料の補助など）」が5割を超えています。特に男性 30歳代で70.0%と高くなっています。

【職業】

- 職業をみると、会社員・公務員では、「短時間勤務、時差出勤など柔軟な勤務形態」が54.9%で最も多く、他の職業に比べても多くなっています。
- パート・アルバイト、学生では休業制度（育児休業や介護休業など）が6割を超えて多くなっています。
- 学生では「職場の同僚や上司の理解」が63.6%で多くなっています。

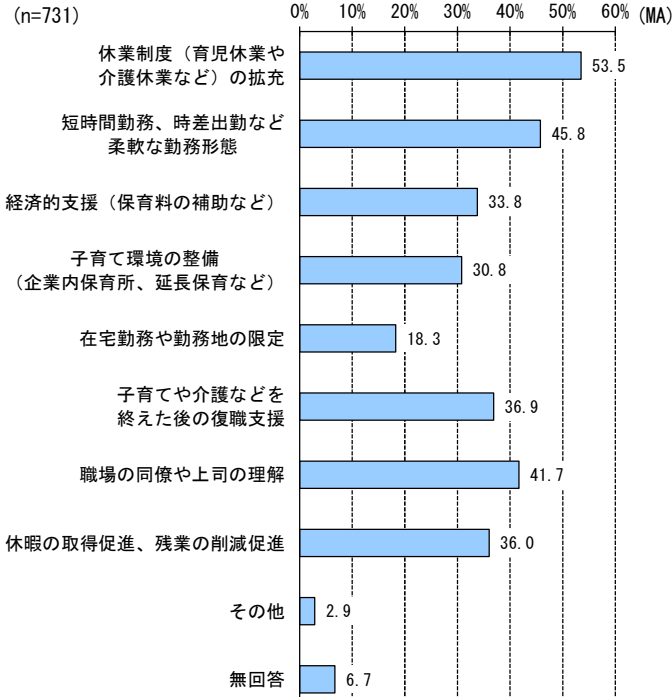
【結婚状況】

- 結婚状況をみると、「結婚したことがない（未婚）」人では他の結婚状況の人に比べ、「経済的支援（保育料の補助など）」、「休暇の取得促進、残業の削減促進」が多くなっています。

【勤務形態】

- 勤務形態をみると、共働きでは「休暇の取得促進、残業の削減促進」が47.1%で、他の勤務形態に比べ多くなっています。
- 非共働きでは、「休業制度（育児休業や介護休業など）の拡充」が61.2%で最も多く、他の勤務形態に比べても多くなっています。

【ワーク・ライフ・バランスの推進のために必要なこと】



単位：%

		母数 (n)	問21 ワーク・ライフ・バランスを推進するために企業や事業所に取り組んでほしいと思うことは何ですか。(MA)									
			休業制度（育児休業や介護休業など）の拡充	柔軟な勤務形態、時差出勤など	（経済的支援の補助など）	（子育て環境の整備（企業内保育所、延長保育など）	在宅勤務や勤務地の限定	子育てや介護などを終えた後の復職支援	職場の同僚や上司の理解	休暇の取得促進、残業の削減促進	その他	無回答
全体		731	53.5	45.8	33.8	30.8	18.3	36.9	41.7	36.0	2.9	6.7
性・年齢	男性	20	73.5	52.9	52.9	38.2	20.6	38.2	50.0	47.1	-	-
	30歳代	20	65.0	70.0	70.0	35.0	25.0	45.0	40.0	50.0	-	-
	40歳代	37	43.2	43.2	43.2	32.4	16.2	27.0	45.9	43.2	5.4	-
	50歳代	44	45.5	56.8	34.1	27.3	22.7	29.5	54.5	50.0	4.5	4.5
	60歳代	78	55.1	37.2	33.3	30.8	17.9	29.5	33.3	35.9	5.1	2.6
	70歳以上	94	51.1	35.1	27.7	20.2	17.0	31.9	30.9	27.7	5.3	13.8
	女性	22	63.6	72.7	59.1	59.1	27.3	40.9	50.0	45.5	-	-
	30歳代	45	51.1	68.9	40.0	33.3	26.7	33.3	44.4	28.9	4.4	4.4
	40歳代	71	45.1	47.9	33.8	22.5	15.5	32.4	39.4	46.5	-	2.8
	50歳代	64	53.1	45.3	26.6	25.0	23.4	28.1	54.7	45.3	-	1.6
	60歳代	80	73.8	51.3	30.0	36.3	15.0	56.3	47.5	32.5	2.5	6.3
	70歳以上	132	44.7	34.1	25.0	35.6	13.6	44.7	37.1	22.7	2.3	15.9
	その他	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	49.1	54.9	38.4	25.9	22.8	30.4	44.6	49.6	1.8	0.9
	自営業	36	41.7	25.0	38.9	30.6	8.3	41.7	33.3	19.4	5.6	13.9
	パート・アルバイト	116	64.7	49.1	37.9	34.5	17.2	36.2	44.0	36.2	1.7	0.9
	学生	11	63.6	45.5	45.5	45.5	27.3	54.5	63.6	54.5	-	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	58.6	45.1	30.1	34.6	19.5	48.1	48.1	31.6	3.0	9.0
	無職	180	51.1	38.9	26.7	30.0	14.4	35.6	33.3	23.9	2.8	13.9
	その他	26	46.2	38.5	30.8	42.3	15.4	38.5	30.8	38.5	11.5	11.5
状況婚状	結婚している（事実婚含む）	531	53.7	45.6	33.3	29.4	18.1	36.3	42.0	36.2	3.0	6.8
	結婚していたが、死別・離婚した	100	51.0	44.0	29.0	36.0	17.0	42.0	39.0	27.0	5.0	7.0
	結婚したことがない（未婚）	99	55.6	49.5	41.4	33.3	21.2	35.4	43.4	44.4	-	5.1
勤務形態	共働き	102	50.0	47.1	35.3	30.4	25.5	31.4	44.1	47.1	2.0	3.9
	準共働き	144	54.2	51.4	41.0	28.5	12.5	29.2	44.4	38.2	3.5	2.8
	非共働き	116	61.2	48.3	35.3	28.4	22.4	43.1	44.8	40.5	0.9	4.3
	無職	160	51.9	38.1	24.4	30.0	15.0	40.6	36.3	25.0	4.4	13.8

6. 夫婦間などにおける暴力（DV）について

(1) DVの経験

①DVの経験の有無

問 22-1 夫婦や恋人・パートナーから身体的・精神的・経済的な暴力（DV）を受けた経験はありますか。

【全体】

- 「今までなかった」が80.7%で最も多く、次いで「過去に一、二度あった」が12.0%、「月一、二度あった」が2.3%となっています。「ほとんど毎日」「週一、二度あった」「月一、二度あった」「過去に一、二度あった」を合わせた“DVを受けた経験のある人”は、15.7%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ「過去に一、二度あった」が多くなっています。
- “DVを受けた経験のある人”は、男性で11.0%、女性で19.1%となっています。

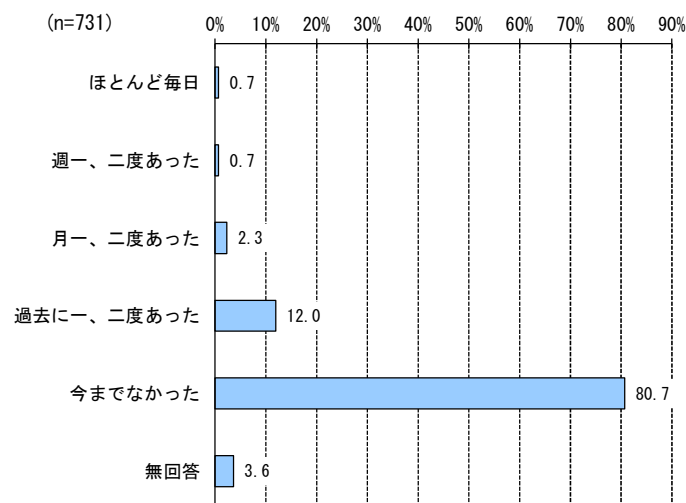
【結婚状況】

- 結婚状況をみると、「結婚していたが、死別・離婚した」人では、“DVを受けた経験のある人”が20.0%と多くなっています。

【勤務形態】

- 勤務形態をみると、共働きでは他の勤務形態に比べ、“DVを受けた経験のある人”が少なくなっています。

【DVの経験の有無】



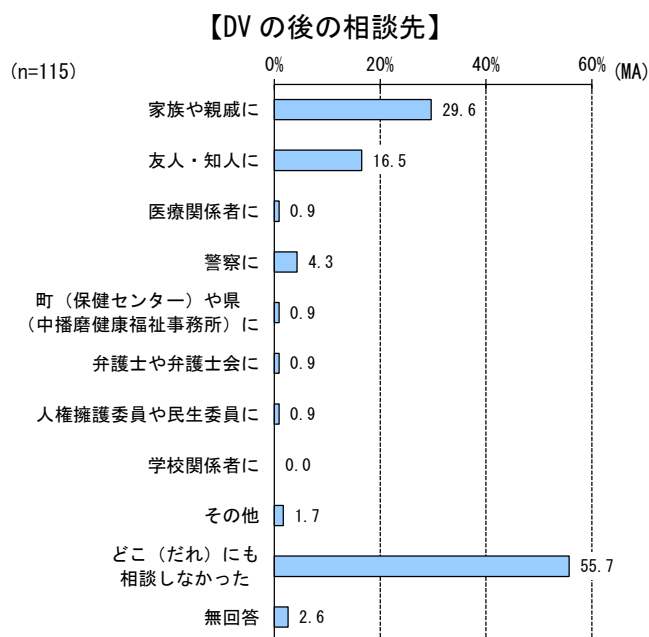
		母数 (n)	問22-1 夫婦や恋人・パートナーから身体的・精神的・経済的な暴力(DV)を受けた経験はありますか。					無回答
			ほとんど毎日	週一、二度あった	月一、二度あった	過去に一、二度あった	今までなかった	
全体		731	0.7	0.7	2.3	12.0	80.7	3.6
性・年齢	男性 20歳代	34	-	-	2.9	5.9	91.2	-
	30歳代	20	-	-	-	100.0	-	-
	40歳代	37	2.7	-	2.7	2.7	91.9	-
	50歳代	44	-	-	-	2.3	95.5	2.3
	60歳代	78	1.3	-	-	15.4	82.1	1.3
	70歳以上	94	1.1	-	3.2	9.6	81.9	4.3
	女性 20歳代	22	-	-	-	-	100.0	-
	30歳代	45	-	2.2	6.7	8.9	77.8	4.4
	40歳代	71	-	1.4	1.4	21.1	73.2	2.8
	50歳代	64	1.6	-	3.1	15.6	78.1	1.6
	60歳代	80	1.3	1.3	3.8	16.3	73.8	3.8
	70歳以上	132	-	1.5	1.5	14.4	74.2	8.3
	その他 20歳代	1	-	-	-	-	100.0	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	
結婚状況	結婚している(事実婚含む)	531	0.6	0.4	2.1	13.4	81.2	2.4
	結婚していたが、死別・離婚した	100	1.0	3.0	5.0	11.0	74.0	6.0
	結婚したことがない(未婚)	99	1.0	-	1.0	6.1	85.9	6.1
勤務形態	共働き	102	-	-	2.0	8.8	87.3	2.0
	準共働き	144	0.7	1.4	2.1	11.1	83.3	1.4
	非共働き	116	0.9	-	0.9	20.7	75.9	1.7
	無職	160	0.6	-	3.1	12.5	79.4	4.4

②DVを受けた後の相談

問 22-2 暴力 (DV) を受けた後、どこ (だれ) かに相談しましたか。(MA)

【全体】

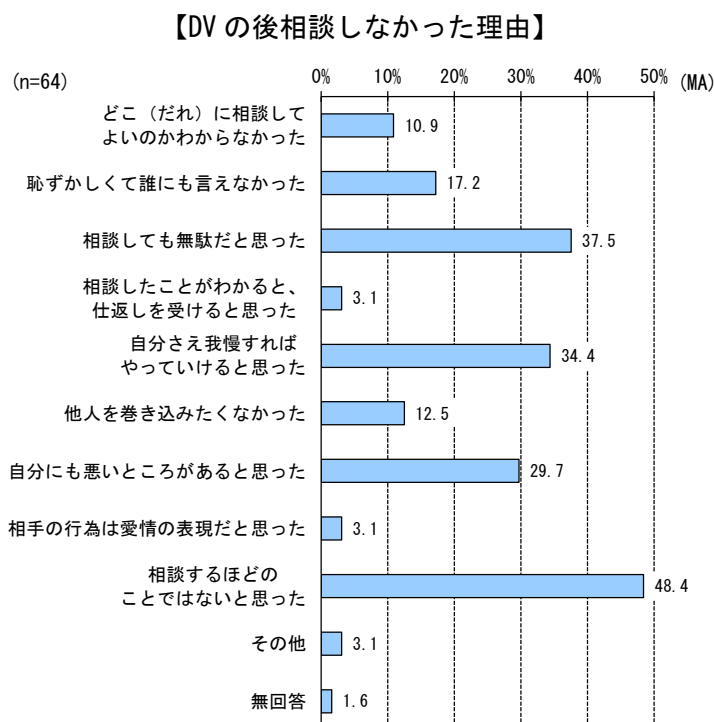
- 「どこ (だれ) にも相談しなかった」が 55.7%で最も多く、次いで「家族や親戚に」が 29.6%、「友人・知人に」が 16.5%となっています。



問 22-3 どこ (だれ) にも相談しなかったのはどうしてですか。(MA)

【全体】

- 「相談するほどのことではないと思った」が 48.4%で最も多く、次いで「相談しても無駄だと思った」が 37.5%、「自分さえ我慢すればやっていけると思った」が 34.4%となっています。



(2) DVを防止するために必要なこと

問 23 男女間における暴力（DV）を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（MA）

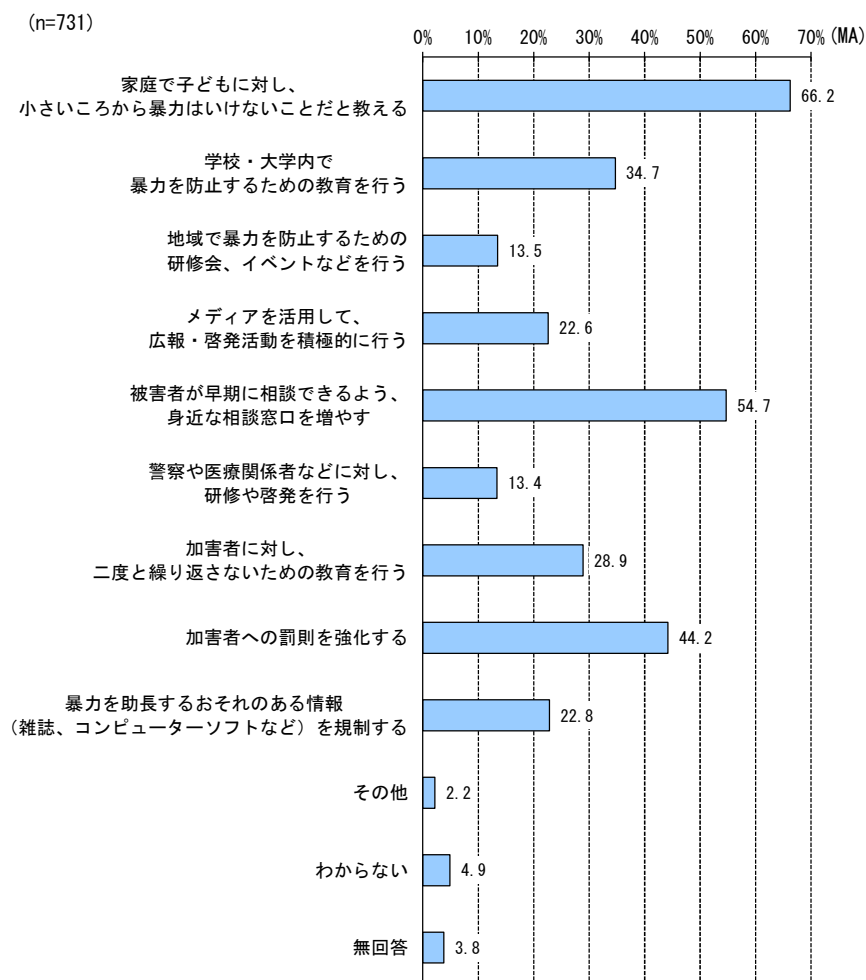
【全体】

- 「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」が66.2%で最も多く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が54.7%、「加害者への罰則を強化する」が44.2%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、20歳代、70歳代では「加害者への罰則を強化する」が少なくなっています。
- 「地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う」について、男性20歳代では14.7%ですが、女性20歳代では4.5%となっています。
- 男性20歳代では他の区分に比べ、「暴力を助長する恐れのある情報を規制する」が少なくなっています。

【DV防止のために必要なこと】



		問23 男女間における暴力（DV）を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（MA）													
		母数 (n)	暴力は 家庭で 子ども に 対し、 小さい ころ から	学校・ 大学 内 で 暴 力 を 防 止 す る た め の 教 育 を 行 う	地 域 で 暴 力 を 防 止 す る た め の 研 修 会 、 イ ベ ン ト な ど を 行 う	メ デ ィ ア を 活 用 し て 、 広 報 ・ 啓 発 活 動 を 積 極 的 に 行 う	被 害 者 が 早 期 に 相 談 で き る よ う 、 身 近 な 相 談 窓 口 を 増 や す	警 察 や 医 療 関 係 者 な ど に 対 し 、 研 修 や 啓 発 を 行 う	加 害 者 に 対 し 、 二 度 と 繰 り 返 さ な い た め の 教 育 を 行 う	加 害 者 へ の 罰 則 を 強 化 す る	誌 、 コ ン ピ ュ ー タ ー ソ フ ト な ど ） を 規 制 す る	暴 力 を 助 長 す る お そ れ の あ る 情 報 （ 雑 報 、 電 子 マ ガ ジ ン な ど ） を 規 制 す る	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		731	66.2	34.7	13.5	22.6	54.7	13.4	28.9	44.2	22.8	2.2	4.9	3.8	
性・年齢	男性														
	20歳代	34	67.6	55.9	14.7	23.5	50.0	20.6	26.5	38.2	5.9	2.9	5.9	2.9	
	30歳代	20	70.0	50.0	20.0	20.0	45.0	30.0	20.0	55.0	15.0	5.0	-	5.0	
	40歳代	37	59.5	32.4	10.8	24.3	59.5	13.5	27.0	67.6	10.8	2.7	5.4	-	
	50歳代	44	61.4	38.6	6.8	38.6	45.5	25.0	29.5	40.9	25.0	2.3	6.8	2.3	
	60歳代	78	62.8	30.8	16.7	19.2	52.6	9.0	23.1	44.9	28.2	3.8	6.4	1.3	
	70歳以上	94	63.8	27.7	24.5	20.2	52.1	11.7	25.5	37.2	24.5	2.1	5.3	5.3	
	女性	22	72.7	45.5	4.5	22.7	68.2	27.3	50.0	50.0	22.7	4.5	-	-	
	20歳代	45	60.0	40.0	8.9	24.4	53.3	13.3	28.9	60.0	17.8	4.4	2.2	6.7	
	30歳代	71	66.2	35.2	4.2	22.5	63.4	15.5	38.0	60.6	22.5	2.8	4.2	2.8	
	40歳代	64	60.9	37.5	10.9	29.7	65.6	9.4	34.4	53.1	23.4	-	3.1	1.6	
	50歳代	80	71.3	31.3	16.3	20.0	60.0	16.3	31.3	42.5	30.0	1.3	5.0	5.0	
	60歳代	132	72.0	31.8	13.6	18.9	47.0	6.1	24.2	26.5	24.2	0.8	6.1	6.1	
	70歳以上	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

7. 地域・社会活動について

(1) 社会活動への参加

問 24 社会活動に、あなた自身は参加していますか。(MA)

【全体】

- 「自治会の活動」が49.1%で最も多く、次いで「特に活動していない」が27.6%、「趣味、スポーツクラブ・教養講座などの活動」が24.4%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、男性では女性に比べ、「自治会の活動」が多くなっています。
- 女性では男性に比べ、「PTA、子ども会などの活動」が多くなっています。
- 男女ともに70歳以上では「青年活動、女性活動、老人クラブ」が多くなっています。
- 男性 70歳代では他の区分に比べ、「社会奉仕や福祉活動」が多くなっています。

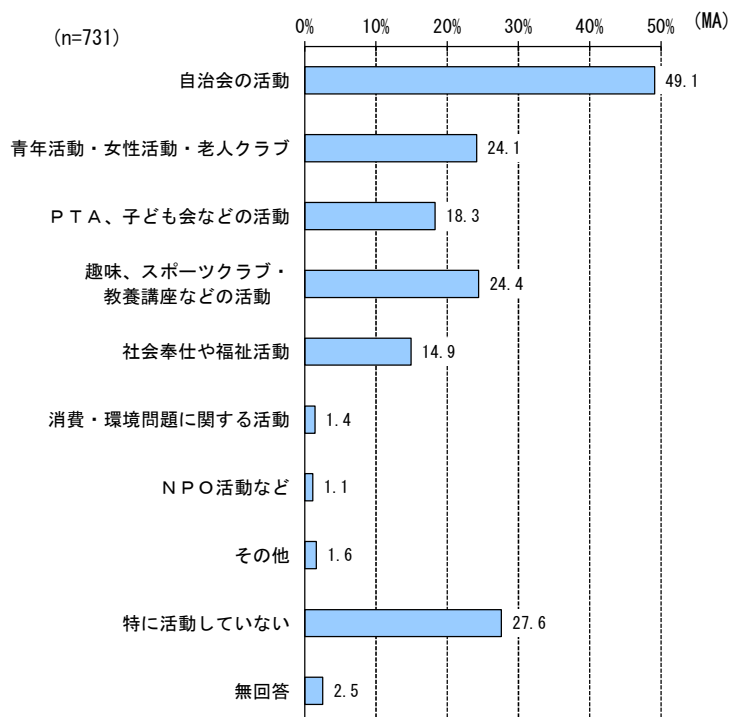
【結婚状況】

- 結婚状況をみると、「結婚している（事実婚含む）」人では、「自治会の活動」が56.1%で最も多く、他の結婚状況の人に比べても多くなっています。また、「PTA、子ども会などの活動」についても、他の結婚状況の人に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 勤務形態をみると、共働きでは、準共働きでは、「PTA、子ども会などの活動」が多く、
- 非共働き、無職では、「趣味、スポーツクラブ・教養講座などの活動」が多くなっています。

【社会活動への参加】



		母数 (n)	問24 社会活動に、あなた自身は参加していますか。(MA)									
			自治会の活動	老人クラブ・青年活動・女性活動	P T A、子ども会などの活動	趣味・スポーツクラブ・教養講座などの活動	社会奉仕や福祉活動	消費・環境問題に関する活動	N P O 活動など	その他	特に活動していない	無回答
全体		731	49.1	24.1	18.3	24.4	14.9	1.4	1.1	1.6	27.6	2.5
性・年齢	男性											
	20歳代	34	29.4	14.7	5.9	23.5	8.8	-	-	-	47.1	-
	30歳代	20	55.0	10.0	15.0	20.0	10.0	-	-	-	30.0	5.0
	40歳代	37	67.6	8.1	40.5	16.2	10.8	2.7	2.7	-	13.5	-
	50歳代	44	65.9	2.3	29.5	15.9	18.2	-	4.5	2.3	25.0	-
	60歳代	78	62.8	17.9	7.7	20.5	23.1	-	-	2.6	19.2	1.3
	70歳以上	94	57.4	50.0	5.3	31.9	28.7	3.2	1.1	2.1	22.3	5.3
	女性											
	20歳代	22	13.6	-	4.5	-	-	-	-	-	86.4	-
	30歳代	45	33.3	13.3	55.6	20.0	-	2.2	4.4	-	24.4	2.2
	40歳代	71	39.4	18.3	59.2	15.5	1.4	1.4	-	2.8	25.4	1.4
	50歳代	64	50.0	14.1	17.2	20.3	3.1	-	-	-	29.7	3.1
	60歳代	80	52.5	25.0	3.8	30.0	18.8	1.3	2.5	2.5	32.5	-
	70歳以上	132	41.7	41.7	5.3	37.1	22.0	2.3	-	1.5	24.2	4.5
その他												
20歳代	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	54.5	10.3	27.2	20.1	9.8	0.4	0.4	1.8	27.2	0.9
	自営業	36	55.6	33.3	11.1	25.0	19.4	2.8	5.6	-	25.0	2.8
	パート・アルバイト	116	48.3	17.2	27.6	15.5	8.6	-	2.6	0.9	27.6	0.9
	学生	11	18.2	-	18.2	18.2	18.2	-	-	-	72.7	-
	主婦・主夫（家事専業）	133	51.9	36.1	18.0	37.6	18.0	3.0	0.8	2.3	18.8	0.8
	無職	180	42.2	37.2	4.4	27.8	21.1	1.7	0.6	1.7	31.7	6.1
	その他	26	42.3	23.1	11.5	11.5	23.1	3.8	-	3.8	34.6	3.8
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	56.1	26.2	23.4	25.8	16.2	1.9	0.8	1.9	21.5	1.5
	結婚していたが、死別・離婚した	100	34.0	29.0	8.0	21.0	15.0	-	3.0	1.0	36.0	7.0
	結婚したことがない（未婚）	99	27.3	8.1	2.0	20.2	8.1	-	1.0	1.0	52.5	2.0
勤務形態	共働き	102	61.8	14.7	36.3	15.7	7.8	1.0	-	-	23.5	1.0
	準共働き	144	60.4	16.7	39.6	18.8	9.0	1.4	2.1	1.4	14.6	2.1
	非共働き	116	44.8	23.3	15.5	25.9	15.5	-	-	0.9	29.3	0.9
	無職	160	56.3	45.0	7.5	38.8	28.8	4.4	0.6	4.4	20.6	1.9

(2) 社会活動への参加における支障

問 25 あなたが社会活動に参加しようとするうえで、支障となることはどのようなことですか。(MA)

【全体】

- 「仕事が忙しい」が29.0%で最も多く、次いで「自分の健康や体力に自信がない」が23.0%、「役員や世話役にされると困る、なりたくない」が21.1%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、「自分の健康や体力に自信がない」が多くなっています。また60歳代以上でも多くなっています。
- 女性 20歳代～40歳代では「家事が忙しい」「子育てが忙しい」が多くなっています。
- 女性 20歳代、30歳代では「子どもの世話を頼めるところがない」が多くなっています。

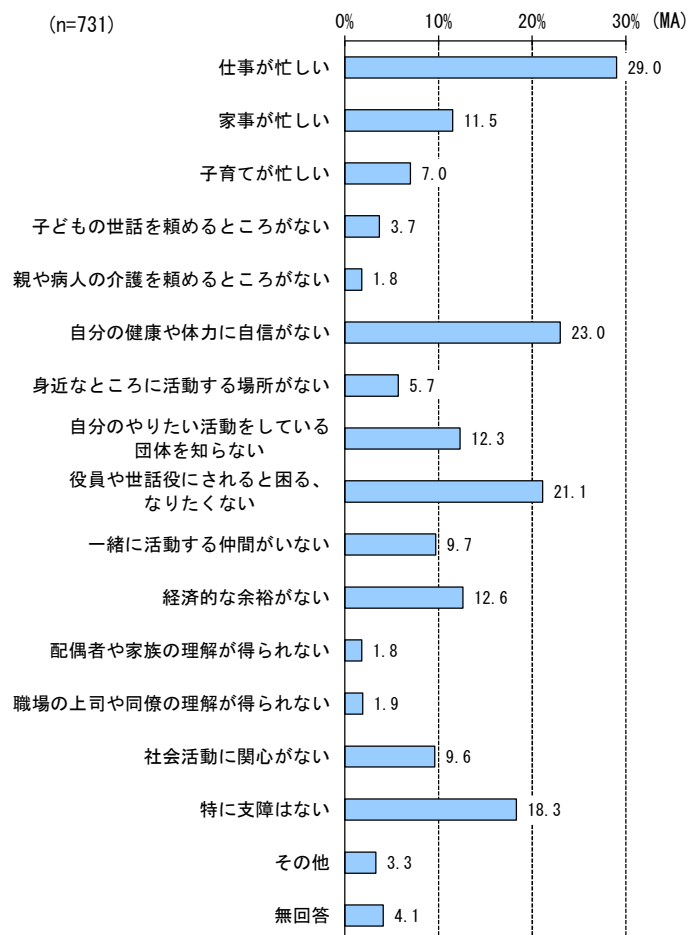
【職業】

- 職業をみると、会社員・公務員、自営業、パート・アルバイトでは、「仕事が忙しい」が最も多くなっています。
- 学生では、「自分のやりたい活動をしている団体を知らない」「一緒に活動する仲間がない」「社会活動に関心がない」が27.3%で最も多くなっています。

【勤務形態】

- 勤務形態をみると、共働き、準共働きでは、「仕事が忙しい」が最も多くなっています。
- 非共働きでは「役員や世話役にされると困る、なりたくない」が31.9%で最も多く、他の勤務形態に比べても多くなっています。

【社会活動への参加における支障】



		問25 あなたが社会活動に参加しようとするうえで、支障となることほどのようなことですか。(MA)																		
		母数 (n)	仕事 が忙しい	家事 が忙しい	子育 てが忙しい	子 どもの 世話 を頼 めると ころ がない	親 や病 人の 介護 を頼 めると ころ がない	自 分の 健康 や体 力に 自信 がない	身 近な とこ ろに 活動 する 場所 がない	自 分の やり たい 活動 をして いる 団体 を 知 らな い	役 員 や世 話役 にさ れる と困 る、 なり た く ない	緒 に活 動す る仲 間が いな い	経 済的 な余 裕が ない	配 偶者 や家 族の 理解 が得 られ ない	職 場 の上 司や 同僚 の理 解が 得ら れな い	社 会活 動に 関心 がな い	特 に支 障は ない	そ の他	無 回 答	
全体		731	29.0	11.5	7.0	3.7	1.8	23.0	5.7	12.3	21.1	9.7	12.6	1.8	1.9	9.6	18.3	3.3	4.1	
性・年齢	男性	34	52.9	2.9	2.9	-	-	8.8	5.9	11.8	14.7	20.6	20.6	2.9	5.9	23.5	8.8	8.8	-	
	20歳代	20	60.0	10.0	15.0	5.0	-	5.0	-	5.0	15.0	10.0	30.0	5.0	15.0	5.0	15.0	5.0	-	
	30歳代	37	75.7	8.1	10.8	2.7	-	2.7	2.7	8.1	43.2	5.4	21.6	-	2.7	10.8	10.8	2.7	-	
	40歳代	44	59.1	2.3	-	-	4.5	6.8	9.1	15.9	15.9	13.6	13.6	2.3	9.1	11.4	11.4	9.1	-	
	50歳代	78	23.1	1.3	-	-	1.3	29.5	6.4	19.2	21.8	10.3	17.9	1.3	2.6	10.3	24.4	1.3	-	
	60歳代	94	9.6	3.2	1.1	-	1.1	43.6	5.3	4.3	22.3	7.4	6.4	-	1.1	5.3	14.9	3.2	10.6	
	70歳以上	22	27.3	13.6	22.7	13.6	-	13.6	13.6	22.7	9.1	9.1	9.1	-	-	22.7	9.1	-	-	
	20歳代	45	24.4	24.4	33.3	26.7	2.2	6.7	8.9	13.3	20.0	4.4	8.9	2.2	-	8.9	15.6	6.7	8.9	
	30歳代	71	49.3	36.6	26.8	9.9	-	12.7	4.2	21.1	23.9	15.5	22.5	2.8	-	15.5	14.1	1.4	2.8	
	40歳代	64	31.3	12.5	1.6	1.6	4.7	12.5	6.3	17.2	23.4	6.3	9.4	4.7	1.6	9.4	25.0	-	1.6	
	50歳代	80	21.3	13.8	2.5	1.3	3.8	25.0	6.3	12.5	25.0	13.8	10.0	3.8	-	8.8	22.5	1.3	-	
	60歳代	132	6.8	9.1	-	0.8	1.5	39.4	4.5	6.1	15.9	6.8	6.1	-	-	3.8	22.7	4.5	7.6	
	70歳以上	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-
	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
職業	会社員・公務員	224	61.2	13.8	8.5	3.6	1.3	7.6	5.4	12.9	24.6	12.1	15.2	2.2	4.5	12.1	12.9	1.8	1.3	
	自営業	36	36.1	2.8	2.8	2.8	-	16.7	5.6	5.6	2.8	11.1	13.9	2.8	-	2.8	25.0	5.6	5.6	
	パート・アルバイト	116	34.5	18.1	12.9	6.0	1.7	12.9	8.6	17.2	19.8	10.3	18.1	1.7	1.7	12.1	18.1	3.4	1.7	
	学生	11	9.1	-	-	-	-	9.1	9.1	27.3	9.1	27.3	9.1	9.1	-	27.3	18.2	18.2	-	
	主婦・主夫（家事専業）	133	4.5	15.0	9.8	7.5	3.0	30.1	3.0	12.8	24.1	7.5	7.5	3.0	-	6.8	24.1	2.3	5.3	
	無職	180	2.8	5.0	1.1	-	2.2	47.2	5.6	8.3	21.1	7.2	8.3	-	0.6	7.8	18.3	3.9	7.2	
	その他	26	30.8	3.8	3.8	3.8	-	11.5	11.5	11.5	11.5	7.7	23.1	-	3.8	7.7	26.9	7.7	3.8	
結婚状況	結婚している（事実婚含む）	531	29.6	13.4	8.9	4.5	2.3	22.2	5.3	12.8	23.0	9.4	11.7	2.3	1.7	9.0	18.8	2.6	3.8	
	結婚していたが、死別・離婚した	100	17.0	8.0	4.0	3.0	-	39.0	5.0	8.0	20.0	10.0	13.0	-	2.0	7.0	18.0	4.0	7.0	
	結婚したことがない（未婚）	99	38.4	5.1	-	-	1.0	11.1	9.1	14.1	12.1	11.1	17.2	1.0	3.0	15.2	16.2	6.1	2.0	
勤務形態	共働き	102	55.9	22.5	14.7	4.9	2.0	9.8	2.0	12.7	21.6	7.8	12.7	2.0	2.0	11.8	18.6	2.9	2.9	
	準共働き	144	44.4	15.3	12.5	6.9	1.4	9.0	8.3	16.0	19.4	15.3	16.7	3.5	4.2	11.1	18.1	2.1	2.8	
	非共働き	116	24.1	12.1	11.2	6.9	1.7	22.4	6.9	17.2	31.9	9.5	12.9	3.4	0.9	7.8	12.1	2.6	0.9	
	無職	160	3.1	6.3	0.6	0.6	3.8	41.3	3.1	6.9	20.6	5.6	5.6	0.6	-	6.9	24.4	3.1	6.3	

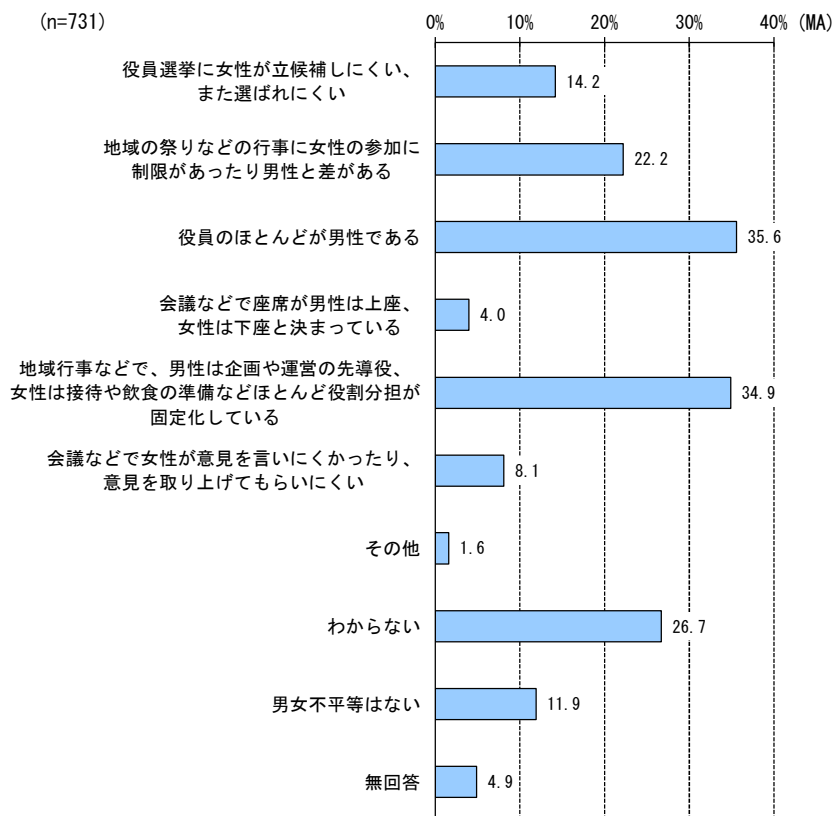
(3) 地域での男女不平等

問 26 あなたが住んでいる地域（自治会等）に男女不平等なことはありますか。（MA）

【全体】

- 「役員のほとんどが男性である」が35.6%で最も多く、次いで「地域行事などで、男性は企画や運営の先導役、女性は接待や飲食の準備などほとんど役割分担が固定化している」が34.9%となっています。

【地域での男女不平等】

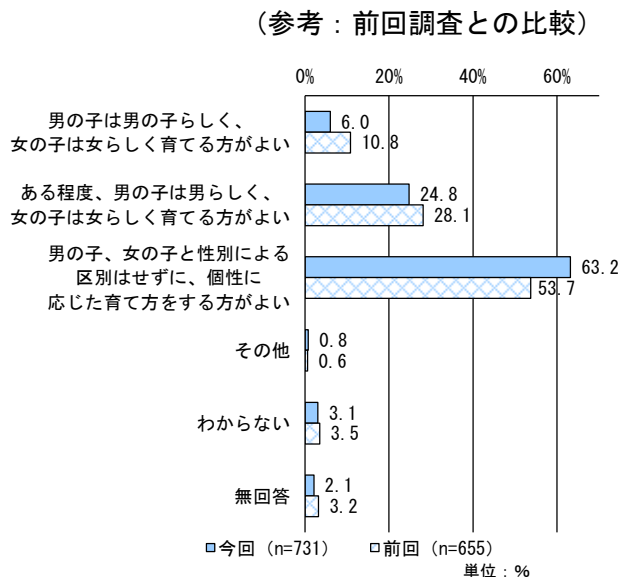
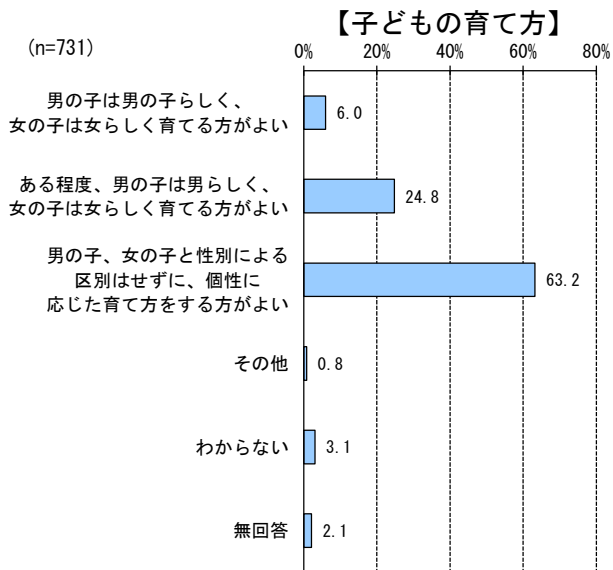


8. 子どもへの男女共同参画教育について

(1) 子どもの育て方

問27 子どもはどのように育てた方がよいとお考えですか。

【全体】	
○ 「男の子、女の子と性別による区別はせずに、個性に応じた育て方をする方がよい」	が63.2%で最も多く、次いで「ある程度、男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」が24.8%、「男の子は男の子らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」が6.0%となっています。
【性・年齢】	
○ 性・年齢をみると、男性では女性に比べ、「男の子は男の子らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」「ある程度、男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」が多く、「男の子、女の子と性別による区別はせずに、個性に応じた育て方をする方がよい」が少なくなっています。	
○ 20歳代では他の年代に比べ、「男の子、女の子と性別による区別はせずに、個性に応じた育て方をする方がよい」が多くなっています。	



		問27 子どもはどのように育てた方がよいとお考えですか。						
		母数 (n)	男の子は男の子らしく育てる方がよい	女の子は女らしく育てる方がよい	性別による区別はせずに、個性に応じた育て方をする方がよい	その他	わからない	無回答
全体		731	6.0	24.8	63.2	0.8	3.1	2.1
性別	男性	308	12.7	27.9	52.9	0.6	3.9	1.9
	女性	414	1.2	22.2	71.5	0.5	2.7	1.9
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-
年齢	20歳代	57	-	24.6	71.9	1.8	1.8	-
	30歳代	65	6.2	26.2	60.0	3.1	3.1	1.5
	40歳代	111	5.4	31.5	57.7	0.9	3.6	0.9
	50歳代	108	6.5	16.7	72.2	-	2.8	1.9
	60歳代	159	8.2	23.3	64.2	-	4.4	-
	70歳代	226	6.2	25.7	60.6	0.4	2.7	4.4
	70歳以上	226	6.2	25.7	60.6	0.4	2.7	4.4

(2) 男女平等のために学校教育で必要なこと

問 28 男女平等の人間関係をつくるために、学校教育の場で何が必要だと思いますか。(MA)

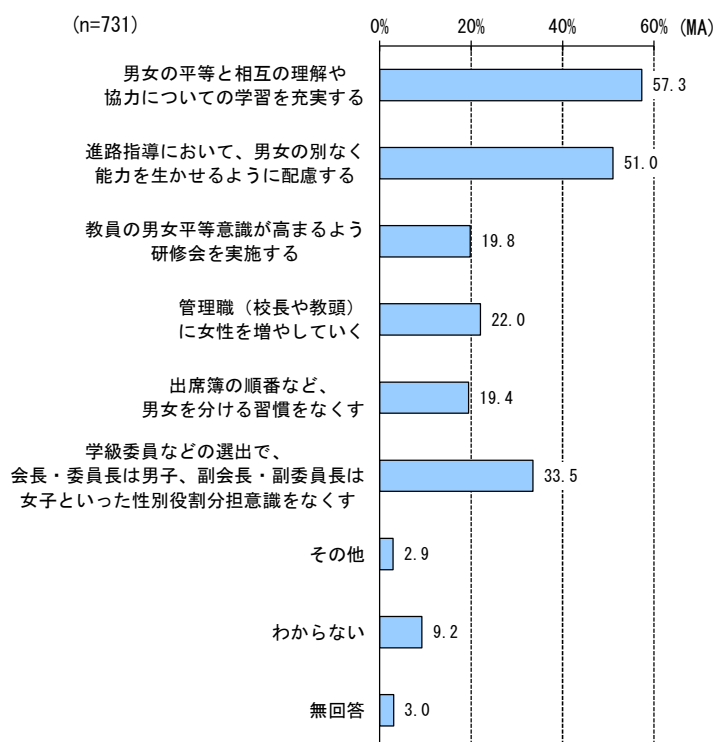
【全体】

- 「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」が 57.3%で最も多く、次いで「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるように配慮する」が 51.0%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるように配慮する」が多く、特に 20 歳代で多くなっています。

【男女平等のために学校教育で必要なこと】



		母数 (n)	問28 男女平等の人間関係をつくるために、学校教育の場で何が必要だと思いますか。 (MA)								
			男女の平等と相互の理解や協力を充実させる	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるように配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく	出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす	学級委員などの選出で、会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子と性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
全体		731	57.3	51.0	19.8	22.0	19.4	33.5	2.9	9.2	3.0
性・年齢	男性										
	20歳代	34	70.6	50.0	14.7	14.7	11.8	23.5	11.8	5.9	-
	30歳代	20	75.0	55.0	25.0	5.0	5.0	40.0	-	-	-
	40歳代	37	62.2	37.8	10.8	24.3	18.9	18.9	2.7	8.1	-
	50歳代	44	70.5	45.5	34.1	27.3	34.1	38.6	2.3	4.5	2.3
	60歳代	78	62.8	47.4	17.9	17.9	15.4	32.1	6.4	7.7	1.3
	70歳以上	94	44.7	43.6	22.3	23.4	12.8	41.5	2.1	19.1	6.4
	女性										
	20歳代	22	54.5	63.6	31.8	22.7	36.4	50.0	4.5	4.5	-
	30歳代	45	48.9	57.8	15.6	17.8	28.9	33.3	6.7	6.7	2.2
	40歳代	71	54.9	57.7	18.3	23.9	21.1	26.8	-	8.5	1.4
	50歳代	64	64.1	46.9	18.8	29.7	29.7	37.5	1.6	6.3	1.6
	60歳代	80	56.3	56.3	18.8	22.5	17.5	35.0	1.3	7.5	3.8
	70歳以上	132	52.3	55.3	18.9	22.7	15.2	28.8	0.8	12.1	5.3
その他											
20歳代	1	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	
30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

9. 男女共同参画についての考え

問 29 男女共同参画社会を実現するために、どのようなことが必要だとお考えですか。(MA)

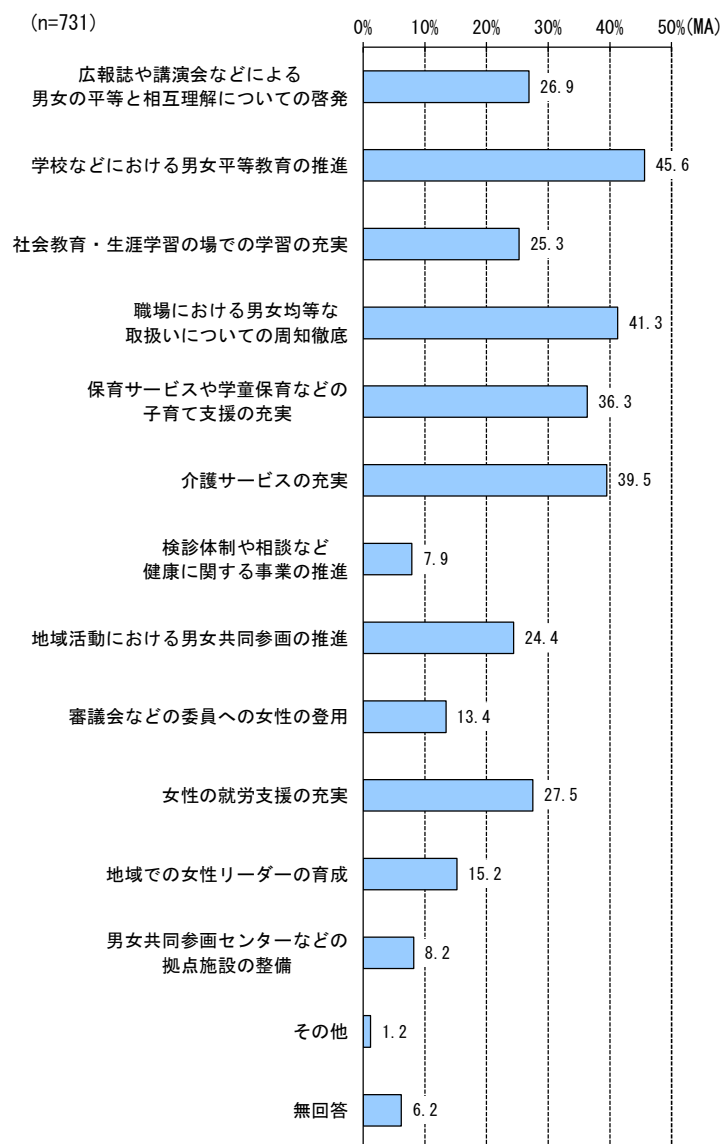
【全体】

- 「学校などにおける男女平等教育の推進」が45.6%で最も多く、次いで「職場における男女均等な取扱いについての周知徹底」が41.3%、「介護サービスの充実」が39.5%となっています。

【性・年齢】

- 性・年齢をみると、女性では男性に比べ、「男女共同参画センターなどの拠点施設の整備」「地域活動における男女共同参画の推進」が少なくなっています。
- 女性 20歳代では「保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実」が77.3%で最も多く、「広報誌や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発」が少なくなっています。

【男女共同参画社会実現のために必要なこと】



		母数 (n)	問29 男女共同参画社会を実現するために、どのようなことが必要だとお考えですか。(MA)													無回答			
			広 平 報 誌 と 相 互 理 解 会 な ど に よ る 男 女 の	女 学 校 な ど に お け る 男 子 の 推 進	学 会 の 充 実 ・ 生 涯 学 習 の 場 で の	取 扱 い に お け る 男 女 均 等 な 取 組 み	職 場 に お け る 男 女 均 等 な 取 組 み	子 育 て 支 援 の 充 実	保 育 サ ー ビ ス や 学 童 保 育 な ど の	介 護 サ ー ビ ス の 充 実	健 康 に 関 す る 事 業 の 推 進	検 診 体 制 や 相 談 な ど	男 女 共 同 参 画 の 推 進	地 域 活 動 に お け る 推 進	委 員 会 な ど の 登 用		女 性 の 就 労 支 援 の 充 実	地 域 で の 女 性 リ ー ダ ー の 育 成	男 女 共 同 参 画 セ ン タ ー な ど の 整 備
全体		731	26.9	45.6	25.3	41.3	36.3	39.5	7.9	24.4	13.4	27.5	15.2	8.2	1.2	6.2			
性・年齢	男性	34	38.2	47.1	17.6	52.9	47.1	44.1	8.8	17.6	8.8	23.5	11.8	11.8	2.9	2.9			
	20歳代	20	25.0	40.0	35.0	55.0	30.0	30.0	10.0	20.0	10.0	15.0	15.0	10.0	-	5.0			
	30歳代	37	29.7	45.9	32.4	43.2	29.7	32.4	8.1	24.3	21.6	29.7	16.2	5.4	2.7	-			
	40歳代	44	20.5	50.0	27.3	50.0	38.6	34.1	9.1	27.3	31.8	22.7	27.3	18.2	-	4.5			
	50歳代	78	35.9	52.6	14.1	33.3	24.4	32.1	3.8	33.3	10.3	16.7	16.7	9.0	1.3	2.6			
	60歳代	94	35.1	45.7	36.2	37.2	25.5	34.0	8.5	42.6	22.3	23.4	25.5	14.9	2.1	8.5			
	70歳以上	22	9.1	68.2	22.7	54.5	77.3	50.0	9.1	27.3	18.2	40.9	18.2	4.5	-	-			
	女性	45	17.8	51.1	13.3	46.7	48.9	33.3	4.4	2.2	8.9	26.7	-	2.2	2.2	6.7			
	20歳代	71	23.9	45.1	19.7	45.1	36.6	39.4	8.5	12.7	14.1	45.1	15.5	1.4	-	7.0			
	30歳代	64	20.3	46.9	17.2	45.3	42.2	54.7	10.9	14.1	7.8	32.8	10.9	3.1	-	1.6			
	40歳代	80	21.3	40.0	27.5	41.3	48.8	50.0	7.5	23.8	7.5	27.5	10.0	7.5	1.3	1.3			
	50歳代	132	30.3	38.6	32.6	33.3	28.8	40.2	7.6	27.3	9.8	28.0	14.4	8.3	1.5	14.4			
	60歳代	1	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	その他	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

福崎町 男女共同参画に関する町民意識調査

町民の皆様には、日頃から町行政にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

福崎町では、男女が対等なパートナーとして、それぞれの個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざす「福崎町男女共同参画基本計画」を平成28年に策定しました。このたび、計画策定から5年目を迎えるにあたり中間見直しを行うため、町民の皆様のお考えや実情を調べるためのアンケート調査を実施いたします。この調査は、町内にお住まいの20歳以上の方1,500人を無作為に選ばせていただきました。お答えいただいた内容は個人が特定されたり、他にもれたり、他の目的に利用することは一切ありませんので、ご安心ください。

調査結果につきましては、男女共同参画社会の実現に向け、役立てて参りたいと思いますので、皆様のご協力よろしくお願ひします。

令和2年5月

福崎町長 尾崎 吉晴

（ご回答にあたってのお願い）

1. あて名のご本人が回答してください。
※ただし、ご本人が何らかの理由により回答できない場合は、ご家族の中で20歳以上の方が代わってご回答いただきますようお願いいたします。
2. 問1から順に、該当する番号に○をつけてください。○をつける数は「1つ」、「あてはまるものすべて」など質問によって異なりますので、その場合はことわり書きの指示にしたがってご回答ください。
3. 質問によっては回答していただく方が限られている場合がありますので、その場合はことわり書きの指示にしたがって、ご回答ください。
4. 「その他」にあてはまる場合は、() になるべく具体的にご記入ください。
5. 回答は、鉛筆、ボールペンなどではっきりとご記入ください。
6. 回答が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて令和2年5月29日（金）までにご返送ください。返信用封筒にはお名前などは書かないでください。

【お問い合わせ先】

〒679-2280 福崎町南田原3116番地の1

福崎町教育委員会 社会教育課

TEL：22-0560（内線256・257） FAX：22-0630

あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. その他※

※性別の「3 その他」とは、性的マイノリティを考慮した選択肢です。
戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご記入ください。

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問3 あなたは、どちらにお住まいですか。(○は1つ)

1. 田原校区 2. 八千種校区 3. 福崎校区 4. 高岡校区

問4 あなたの職業は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. パート・アルバイト
4. 学生 5. 主婦・主夫(家事専業) 6. 無職
7. その他(具体的に)

問5-1 あなたは現在結婚していますか。(○は1つ)

1. 結婚している(事実婚含む) 2. 結婚していたが、死別・離婚した
3. 結婚したことがない(未婚)

1と回答された方は問5-2へ、それ以外の方は問6へ

問5-2 問5-1で「1」と回答された方へお聞きします。あなたと配偶者の勤務形態は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 共働き	ともにフルタイム勤務
2. 準共働き	一方がフルタイム勤務、一方がパートタイム勤務 または、ともにパートタイム勤務
3. 非共働き	一方がフルタイム勤務、一方が無職 または、一方がパートタイム勤務、一方が無職
4. 無職	ともに無職

問6 あなたの家族構成は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. ひとり暮らし(単身世帯) | 2. 夫婦だけ、兄弟・姉妹のみ(一世代世帯) |
| 3. 夫婦と親、夫婦と子(二世帯世帯) | 4. ひとり親と子(二世帯世帯) |
| 5. 親と子と孫(三世帯世帯) | 6. その他の世帯(具体的に) |

問7-1 あなたには同居のお子さんがおられますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|--------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人以上 | 5. いない | |

1~4と回答された方は問7-2へ、それ以外の方は問8へ

問7-2 問7-1で「1~4」と回答された方へお聞きします。お子さんは次のどれにあてはまりますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 乳児(1歳未満) | 2. 幼児(1歳以上) |
| 3. 小学生 | 4. 中学生 |
| 5. 高校生・高専 | 6. 大学生・大学院生・短大・専門学校生 |
| 7. 社会人・その他 | |

男女共同参画の実態と知識についておたずねします。

問8 あなたは次の言葉の意味や内容をご存じですか。(それぞれの番号に○は1つ)

	知っている	はある 聞いたこと	知らない
①男女共同参画社会基本法	1	2	3
②男女雇用機会均等法	1	2	3
③育児・介護休業法	1	2	3
④セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)	1	2	3
⑤DV(配偶者からの暴力)	1	2	3
⑥デートDV(交際相手からの暴力)	1	2	3
⑦配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3
⑧ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー規制法)	1	2	3
⑨ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3
⑩女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)	1	2	3
⑪積極的改善措置(ポジティブ・アクション)	1	2	3
⑫性的マイノリティ(LGBT) ^{※1}	1	2	3

※1…性的マイノリティ(LGBT)とは、同性が好きの人や自分の性に違和感を感じる人、または性同一性障害などの人々のことをいいます。「セクシュアルマイノリティ」、「性的少数者」ともいいます。「異性を愛するのが普通だ」とか、「心と体の性別が異なることなどない、性別は男と女だけである」としている人からみて少数者という意味です。

問9 日本の社会での現在の男女の地位は、どの程度平等になっていると思いますか。(それぞれの番号に○は1つ)

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
①家庭生活で	1	2	3	4	5	6
②就業の機会	1	2	3	4	5	6
③職場で	1	2	3	4	5	6
④学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
⑤政治・政策決定の場で	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念・習慣・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
⑧自治会などの地域社会の場で	1	2	3	4	5	6

問10 社会において男女の不平等が生じる原因は何であると思いますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 性別によって役割が違うという意識 2. 社会的なしきたりやならわし 3. 身体的・生理的な差 4. 女性に対する偏見 5. 家庭における教育不足 6. 学校における教育不足 7. 地域における教育不足 8. 法律や制度の不備 9. 男性の理解不足 10. 女性の理解不足 11. その他(具体的に) 12. 特になし

家庭生活についておたずねします。

問 11 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

1. そのとおりでと思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. その他(具体的に)

問 12 あなたは女性が仕事をする事について、どのように思いますか。(○は1つ)

1. 産休・育休などを取得しながら仕事を続けるのがよい
2. 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
3. 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい
4. 子どもができるまでは仕事をするのがよい
5. 結婚するまでは仕事をするのがよい
6. 女性は仕事をしない方がよい
7. その他(具体的に)
8. わからない

問 13 結婚や出産を機に仕事をやめる女性がありますが、その理由は何だと思えますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 家事や育児との両立が難しいから
2. 家族の協力や理解が得られないから
3. 育児休業や介護休業などの制度が不十分だから
4. 企業が結婚・出産した女性をきらい傾向があるから
5. 企業が責任ある仕事を女性に任せないから
6. 男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから
7. 保育施設の数や内容が十分でないから
8. 高齢者などの介護との両立が難しいから
9. 子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから
10. その他(具体的に)
11. わからない

問 14 あなたの家庭での役割分担はどうなっていますか。また、あなたの理想の分担はどのような形ですか。(1)は結婚している方(事実婚含む)、(2)はすべての方がお答えください。

	(1) 現実(結婚している方)					(2) 理想(すべての方)				
	夫婦が協力して	主に夫	主に妻	夫と妻以外の家族	その他・該当なし	夫婦が協力して	主に夫	主に妻	夫と妻以外の家族	その他・該当なし
	↓ 1～5の1つだけに○					↓ 1～5の1つだけに○				
①生活費を稼ぐ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②食事のしたく	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③食後の片付け・食器洗い	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④日常の買い物	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤掃除	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥洗濯	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ごみ出し	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧家計の管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨家族の介護や看護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩育児・しつけ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪近所づきあい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫学校行事などへの参加	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬自治会などの地域活動への参加	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 15 今後、仕事・家庭などあらゆる分野に男女がともに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女の役割について社会通年、慣習、しきたりを改めていくこと 2. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること 3. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること 4. 家庭で子どもが将来、家事などを男女で担うような子育てや教育をすること 5. 男女がもっと男女共同参画について関心をもつこと 6. 学校で男女共同参画の必要性を教えること 7. その他(具体的に) 8. 特に必要なことはない |
|--|

問 16 家庭での高齢者や病人の世話（介護）の多くは女性がしているといわれていますが、このことをどう思いますか。（○は1つ）

- | |
|------------------------------|
| 1. 当然だと思う |
| 2. 仕方がないと思う |
| 3. 男性も女性もともに世話をすべきだと思う |
| 4. 主として、男性が世話をすべきだと思う |
| 5. ホームヘルパーや公的な介護制度を利用すべきだと思う |
| 6. その他（具体的に) |

問 17 もし、あなたに介護が必要となったら、主に誰に世話をしてもらいたいですか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------------------|----------|-----------|
| 1. 夫または妻（パートナー） | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 息子の配偶者 | 5. 娘の配偶者 | 6. その他の親族 |
| 7. 病院や老人ホームなどの施設の利用 | | |
| 8. ホームヘルパーや公的な介護制度の利用 | | |
| 9. その他（具体的に) | | |

問 18 育児や家族介護を行うために育児休業や介護休業を取得できる制度がありますが、あなたは、男性が育児休業や介護休業を取ることにどう思いますか。（（1）育児休業、（2）介護休業について、それぞれ1～4のうち1つに○をつけてください。）

	(1) 育児休業	(2) 介護休業
1 積極的に取った方がよい	1	1
2 どちらかといえば取った方がよい	2	2
3 どちらかといえば取らない方がよい	3	3
4 取らない方がよい	4	4

問 19 育児や介護で休みを取る男性が少ない現状にあります、その理由は何だと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 職場の理解が得られないから |
| 2. 職場の雰囲気 |
| 3. 昇進や昇給に影響する恐れがあるから |
| 4. 取得後の職場復帰への不安があるから |
| 5. 仕事の量や責任が大きいから |
| 6. 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから |
| 7. 女性の方が育児・介護に向いているから |
| 8. 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔する」などの気持ちがあるから |
| 9. その他（具体的に) |
| 10. わからない |

ワーク・ライフ・バランス※（仕事と生活の調和）についておたずねします。

※ワーク・ライフ・バランス：一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる状態のこと。

問 20 生活の中の【仕事、家庭生活、地域活動・個人の時間】のうち、どれを優先したいと希望しますか。1～7のうち1つに○をつけてください。また、現実は何が優先されていますか。1～7のうち1つに○をつけてください。

	(1) 希望	(2) 現実
1. 仕事を優先	1	1
2. 家庭生活を優先	2	2
3. 地域活動や個人の時間を優先	3	3
4. 仕事と家庭生活の両立	4	4
5. 仕事と地域活動や個人の時間の両立	5	5
6. 家庭生活と地域活動や個人の時間の両立	6	6
7. 仕事、家庭生活、地域活動や個人の時間の並立	7	7

問 21 ワーク・ライフ・バランスを推進するために企業や事業所に取り組んでほしいと思うことは何ですか。（○はあてはまるものすべて）

1. 休業制度（育児休業や介護休業など）の拡充 2. 短時間勤務、時差出勤など柔軟な勤務形態 3. 経済的支援（保育料の補助など） 4. 子育て環境の整備（企業内保育所、延長保育など） 5. 在宅勤務や勤務地の限定 6. 子育てや介護などを終えた後の復職支援 7. 職場の同僚や上司の理解 8. 休暇の取得促進、残業の削減促進 9. その他（具体的に)
---	---

夫婦間などにおける暴力（DV※）についておたずねします。

※DV（ドメスティック・バイオレンス）：配偶者など親密な関係にある相手から受ける身体に危害を及ぼす、又は心身に有害な影響を及ぼす暴力のことで、身体的な暴力だけでなく、暴言を吐く、生活費を渡さないなどの精神的・経済的な暴力もDVに含まれます。DVは、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害にあたります。

問 22-1 夫婦や恋人・パートナーから身体的・精神的・経済的な暴力（DV）を受けた経験はありますか。（○は1つ）

1. ほとんど毎日
2. 週一、二度あった
3. 月一、二度あった
4. 過去に一、二度あった
5. 今までなかった

1、2、3、4と回答された方は問 22-2 へ、それ以外の方は問 23 へ

問 22-2 問 22-1 で「1」、「2」、「3」、「4」と回答された方にお聞きします。暴力（DV）を受けた後、どこ（だれ）かに相談しましたか。（○はあてはまるものすべて）

1. 家族や親戚に
2. 友人・知人に
3. 医療関係者に
4. 警察に
5. 町（保健センター）や県（中播磨健康福祉事務所）に
6. 弁護士や弁護士会に
7. 人権擁護委員や民生委員に
8. 学校関係者に
9. その他（具体的に)
10. どこ（だれ）にも相談しなかった

10と回答された方は問 22-3 へ、それ以外の方は問 23 へ

問 22-3 問 22-2 で「10」と回答された方にお尋ねします。どこ（だれ）にも相談しなかったのはどうしてですか。（○はあてはまるものすべて）

1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかると、仕返しを受けると思った
5. 自分さえ我慢すればやっていけると思った
6. 他人を巻き込みたくなかった
7. 自分にも悪いところがあると思った
8. 相手の行為は愛情の表現だと思った
9. 相談するほどのことではないと思った
10. その他（具体的に)

問 23 男女間における暴力（DV）を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える
2. 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6. 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7. 加害者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 加害者への罰則を強化する
9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を規制する
10. その他（具体的に _____)
11. わからない

地域・社会活動についておたずねします。

問 24 社会活動に、あなた自身は参加していますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 自治会の活動
2. 青年活動・女性活動・老人クラブ
3. PTA、子ども会などの活動
4. 趣味、スポーツクラブ・教養講座などの活動
5. 社会奉仕や福祉活動
6. 消費・環境問題に関する活動
7. NPO活動など
8. その他（具体的に _____)
9. 特に活動していない

問 25 あなたが社会活動に参加しようとするうえで、支障となることはどのようなことですか。（○はあてはまるものすべて）

1. 仕事が忙しい
2. 家事が忙しい
3. 子育てが忙しい
4. 子どもの世話を頼めるところがない
5. 親や病人の介護を頼めるところがない
6. 自分の健康や体力に自信がない
7. 身近なところに活動する場所がない
8. 自分のやりたい活動をしている団体を知らない
9. 役員や世話役にされると困る、なりたくない
10. 一緒に活動する仲間がいない
11. 経済的な余裕がない
12. 配偶者や家族の理解が得られない
13. 職場の上司や同僚の理解が得られない
14. 社会活動に関心がない
15. 特に支障はない
16. その他（具体的に _____)

問 26 あなたが住んでいる地域（自治会等）に男女不平等なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 役員選挙に女性が立候補しにくい、また選ばれにくい
2. 地域の祭りなどの行事に女性の参加に制限があったり男性と差がある
3. 役員のほとんどが男性である
4. 会議などで座席が男性は上座、女性は下座と決まっている
5. 地域行事などで、男性は企画や運営の先導役、女性は接待や飲食の準備などほとんど役割分担が固定化している
6. 会議などで女性が意見を言いにくかったり、意見を取り上げてもらいにくい
7. その他（具体的に)
8. わからない
9. 男女不平等はない

子どもへの男女共同参画教育について

※すべての方がご回答ください。

問 27 子どもはどのように育てた方がよいとお考えですか。（○は1つ）

1. 男の子は男の子らしく、女の子は女らしく育てる方がよい
2. ある程度、男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい
3. 男の子、女の子と性別による区別はせずに、個性に応じた育て方をする方がよい
4. その他（具体的に)
5. わからない

問 28 男女平等の人間関係をつくるために、学校教育の場で何が重要だと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
2. 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるように配慮する
3. 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する
4. 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく
5. 出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす
6. 学級委員などの選出で、会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす
7. その他（具体的に)
8. わからない

男女共同参画に対するお考えについて

問 29 男女共同参画社会を実現するために、どのようなことが必要だとお考えですか。(〇はお考えに近いものすべて)

1. 広報誌や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発
2. 学校などにおける男女平等教育の推進
3. 社会教育・生涯学習の場での学習の充実
4. 職場における男女均等な取扱いについての周知徹底
5. 保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実
6. 介護サービスの充実
7. 検診体制や相談など健康に関する事業の推進
8. 地域活動における男女共同参画の推進
9. 審議会などの委員への女性の登用
10. 女性の就労支援の充実
11. 地域での女性リーダーの育成
12. 男女共同参画センターなどの拠点施設の整備
13. その他(具体的に

問 30 男女共同参画社会づくりに関して、ご意見などありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

記入漏れがないか再度ご確認ください、同封しております返信用封筒(切手不要)に入れて、

5月29日(金)までにご返送ください。